

LION

ライオン誌日本語版・夏号

SUMMER 2025



thelion-mag.jp

リーダーシップこそ奉仕、
奉仕こそリーダーシップ。



Lions International

「奉仕活動レポート」投稿募集中

ライオン誌では奉仕活動の投稿を募集しています。ウェブマガジンではメンバーだけでなく多くの人にライオンズの活動を伝えています。クラブの活動の模様を生き生きと伝える原稿と写真をお寄せください。

★原稿作成のヒント

■読み手に伝わる原稿

活動の目的や工夫した点、成果を分かりやすく記して、他クラブの参考になる原稿にしましょう。

- ・活動の内容： いつ、どこで、だれを対象に、何を行ったか
- ・目的： 地域のどのようなニーズを捉え、どのような成果を目指して実施したか
- ・過程： 企画に当たってどのような点に留意したか。実現までに困難があった場合はそれをどう克服したか
- ・結果： 活動によって地域や人々にどのような影響や変化があったか。地域でどのような反応があったか

■投稿要領

- ・レポート原稿（600字以上）と写真データをライオン誌ウェブマガジンの投稿フォームから送信
- ・投稿は出来るだけ活動終了から1カ月以内に

★写真撮影のヒント

■奉仕する姿を写真に

被写体の自然な様子を捉え、誰が、どこで、何をしているかを物語る写真を目指します。

- ・ポーズを取ったり、カメラに視線を向けたりした写真ではなく、活動のありのままの様子を撮影
- ・優しさ、親しみやすさ、前向きさを感じさせる表情を捉える
- ・ライオンズのロゴの入ったユニフォームや帽子、背景にある旗やのぼりなどを構図に取り入れる
- ・広報用の写真を撮影する際は、事前に参加者に告知し了解を得るなど、肖像権を侵害しないよう留意

■スマートフォンで手軽に

最近のスマートフォンには高性能のカメラが備わっています。その機能を最大限に生かしてください。

- ・横向きにして撮影する
- ・ぶれないようにしっかりと持ち、タイミングを見計らう
- ・ズーム機能は使わず、必要な場合は被写体に近づく

■高解像度データで鮮明に

画質を下げたり、縮小したりしたデータは元には戻せません。縮小していない高解像度のデータをご提供ください。

- ・最高画質、サイズは長辺1600ピクセル以上を推奨
- ・どうしても人物の顔を隠す必要がある場合は、ぼかし加工を行う。スタンプや切り抜きなどの加工はしない
- ・SNSにアップロードした写真は縮小されているので要注意



誰が何をしているかを写真で物語る



生き生きとした表情を捉える



行動する姿をありのままに伝える



クラブの奉仕活動を撮影した臨場感のある写真と原稿によるレポートをお待ちしています。ウェブマガジン（www.thelion-mag.jp）「会員向け」メニューの「投稿」にある投稿規定をご確認の上、オンラインフォームで写真及び原稿のデータを送信してください

4	国際会長メッセージ 「リーダーシップこそ奉仕、奉仕こそリーダーシップ」
---	---

5	奉仕活動レポート 5: 長野県・更埴／6: 島根県・松江／滋賀県栗東／ 7: 334-A地区 7リジョン 3ゾーン／静岡県・下田／ 8: 330-A地区／332-B地区／9: 335-B地区／ 10: 大分県・日田／北海道・名寄／11: 大阪府・高槻／ 12: 大阪府・八尾中央／京都南／13: 熊本県・人吉／ 14: 宮城県・気仙沼／大分県・中津
---	---

15	2025-2026年度国際会長テーマ
----	---------------------------

26	奉仕週間 2025-2026
----	-----------------------

28	オーランド国際大会
----	------------------

30	地区ガバナー紹介
----	-----------------

34	ライオンズ・インフォメーション 34: 国際理事だより 仁科良三 35: 国際理事だより 田名部智之 36: LCIF情報 37: 国際理事会決議事項要約 38: トピックス
----	---

40	第62回 OSEALフォーラム 第1回ステアリング委員会
----	-------------------------------------

42	獅子吼 42: 下川好隆／久慈勝範
----	-----------------------------

46	編集室 渕野二三世／佐々木孝之
----	---------------------------

47	日本ライオンズ分布図
----	-------------------

表紙: A.P. シン国際会長



国際会長メッセージ

ライオンズクラブ国際協会 会長
A.P. シン

We Serve.

リーダーシップこそ奉仕、
奉仕こそリーダーシップ。

ライオンズの皆さんへ

ライオンズとして、私たちは奉仕によって結ばれています。それぞれの地域社会で、そして世界中で。私たちの出身地や文化は異なるかもしれませんが、「人々の暮らしを改善する」という同じ目的を分かち合っています。

「リーダーシップこそ奉仕、奉仕こそリーダーシップ」という 2025-26 年度のメッセージは、奉仕とリーダーシップが表裏一体であることに気付かせてくれます。あらゆる奉仕の行為は、心によってリードすることが何を意味するかを人々に示します。そして奉仕すればするほど、人として、クラブとして、そしてグローバルなファミリーとして、私たちは成長していくことになります。

今年度を祝賀に値する一年にするためには、私たちは力強くスタートを切らなければなりません。それが意味するのは、早期から行動を起こし、クラブに新会員を迎え入れ、新クラブ結成への地区の取り組みを支援することです。予定よりも早く目標を達成すれば、年度を通じて更に大きく貢献するために必要な勢いが生まれるでしょう。

拡大を遂げていく中では、クラブが奉仕の心を持ったあらゆる人々を歓迎するようにしてください。私たちは、若い会員を呼び込むことで、その活力と新鮮なアイデアを取り入れているのでしょうか？ 特に従来はそうすることが難しかった場所に、女性の居場所を作っているのでしょうか？ あらゆるクラブには、その奉仕する地域社会 — 多様で、活気にあふれ、可能性に満ちた地域社会が反映されているべきです。

今はまた、奉仕週間の企画に着手する時期でもあります。世界中のライオンズとレオは、心の健康とケア、食料支援、環境保全の分野に尽力する 3回の奉仕週間に向けて、結束して取り組むことになります。これは、皆さんと肩を並べて奉仕するよう新しい友人に呼びかけ、ライオンであることの意味を直接体験してもらう絶好の機会です。詳細は、奉仕週間に関する今号の記事(26~27頁)をお読みください。

従って、目的を持って会員を拡大し、奉仕によってリードしていこうではありませんか。

共に奉仕を

A.P. Singh

みんなの冷蔵庫で誰もが生きやすい社会を

長野県・更埴ライオンズクラブ

【取材／河村智子】

長野県千曲市にある更埴ライオンズクラブ（山口和紀会長／16人）事務局に開設された「みんなの冷蔵庫ちくま」は、生活に困難を抱える人たちに市民や企業から寄付された食品や日用品を提供している。現在は第2・第4日曜日の月2回、あらかじめ登録した人が食品を取りに訪れる。取材した5月11日は午前10時のオープンと同時に、乳幼児を連れた母親など4組がやってきた。利用出来るのは、児童扶養手当、就学援助の受給者や生活困窮者自立支援などの対象者で、生活保護を受給していない人。32世帯の登録があり、食品を寄付するフードプレゼンターは30件、協賛

企業は54社に上る。

クラブはコロナ禍前から年2回のフードドライブを実施してきたが、必要な人に支援が届いていない現状が垣間見えた一方、企業や農家は食品廃棄の問題を抱えていた。それらを解決するために取り入れたのがコミュニティフリッジの仕組みだ。

公平公正な運営を図るため、クラブは社会福祉協議会や介護施設、こども食堂など9団体による実行委員会を組織して準備を進め、24年12月22日に開所した。社会的な孤立を防ぎ、「困った時はお互いさま」の精神で支え合える地域を目指して、更埴ライオンズクラブの歩みは続く。



写真コンテストで施設の子らと触れ合い

島根県・松江ライオンズクラブ

【投稿】社会・福祉 奉仕委員会委員長／竹内祐子

松江ライオンズクラブ（實重正樹会長／83人）は24年11月23日、児童養護施設双樹学院の子どもたちと一緒に国内最大級の花と鳥のテーマパーク「松江フォーゲルパーク」を訪れた。この日の企画は、双樹学院の児童・生徒とメンバーがペアになって花や鳥の写真を撮り、ベストショットを応募する「デジタルフォトコンテスト」。後日、作品を展示して学院生やメンバーの投票でグランプリを決める。



当日はローカル線・一畑電車の松江しんじ湖温泉駅に集合。くじ引きで決めたペアになって電車に乗り込み、松江フォーゲルパークに向けて出発した。電車に乗るのも、園内での写真撮影も、子どもたちはワクワクした様子で、メンバーもまるで自分の子どもと一緒に遊びに来ているかのようなだった。撮影後のスイーツタイムでは、子どもたちは大人に遠慮することなく自分の食べたいものを言える。後日、双樹学院の院長先生から「決められたものではなく、自分で自由に欲しいものを言うことが出来たのがとてもうれしかったよ」で、みんな喜んでいた」との話を聞いた。別れの時間が来て、子どもたちを見送るクラブメンバーは寂しげで、中には涙目でウルウルしているメンバーもいた。

12月26日、双樹学院での表彰式は会場の飾り付けも進行も学院生の手作りで行われた。グランプリは小学1年生の男児が受賞。温かい雰囲気の中、ワクワクドキドキの表彰式になった。

移動図書館みどり号復活

滋賀県・栗東ライオンズクラブ

【投稿】幹事／上田忠博

栗東ライオンズクラブ（田中義信会長／48人）は、結成50周年記念事業の一つとして移動図書館「みどり号」を市立図書館へ寄贈した。

1976年度に旧栗東町で導入された「みどり号」は、学校や住宅地を回って本を貸し出していたが、市制施行後、財政状況の悪化で2009年3月に運営が中止された。復活を望む市民の声は根強く、当クラブは「子どもたちに明るい未来を」の思いの下、市立図書館と議論を重ねて移動図書館を復活させ、子どもたちが本に触れ合える機会の提供を目指した。車両購入には、LCIFシェアリング交付金を充当した。

2月1日、市立図書館で開催された寄贈式で新みどり号を披露。集まった親子連れと共に再出発を喜び合った。田中会長は「読書は子どもたちに深い学びを与えてくれる。みどり号を活用し、多くの子どもたちに笑顔を届けてほしい」と期待を述べた。

新みどり号の車体は草原をイメージした緑色で、絵本作家あべ弘士さ



んに原画を依頼し、親子ライオンの姿が描かれている。みどり号は月1回、図書館所蔵の児童書500冊を載せて児童施設などを回ることになっている。

今後は「くりちゃん子ども未来文庫」を創設し、地域の個人、団体、企業等から寄付を集め、本の購入の他、子ども向けの講演会、読み聞かせ会等、本と触れ合えるイベントの企画・開催を行っていく予定だ。

新生ゾーンで合同の清掃奉仕



334 A地区7リジョン3ゾーン（愛知県名古屋市内）

【投稿】梶田光太郎（名古屋千種）

2月22日、334・A地区7リジョン3ゾーンの7クラブは合同で、名古屋市千種区の平和公園にある「猫が洞池」のゴミ拾いを実施した。この活動には、各クラブが実施する奉仕活動の支援先の皆さんや、YCEの海外派遣経験者、レオクラブ会員など総勢185人が参加。集合直前は何と吹雪！という悪天候の中、寒さに負けず皆でがんばった。

会員数とクラブ数が減少傾向にあ



る中で2023年度にリジョン・ゾーンの改編が行われ、今年度は事務局合理化委員会を立ち上げて統合・整理を進めた。この再スタートを機に、ゾーン内の全クラブを一つの事務局が受け持つ体制を実現。そして、「アクティビティは合同で」を合言葉に取り組んだゾーン合同事業の第1号が今回の清掃活動だ。参加の声がけには、各クラブが力を発揮してその輪を広げることが出来た。

各クラブによる奉仕活動はもちろん継続されるが、ライオンズの活動をより幅広く社会貢献につなげるためには、皆で力を合わせることが欠かせないと感じる。合同での奉仕活動はまだ始まったばかり。ゾーンを超え、リジョンを超え、地区から複合地区へと広がり、ライオンズが更なる社会貢献を果たせるように尽力していきたい。

清掃を完了したのは昼。昼食は参加者全員でバーベキューを楽しんだ。良き友、良き仲間が集うライオンズの絆の力を改めて感じている。

海の生態を学ぶバックヤードツアー



静岡県・下田ライオンズクラブ

【投稿】幹事／杉本龍重

3月9日、下田ライオンズクラブ（渡邊大輔会長／41人）は、下田海水族館のバックヤードツアーを主催した。

下田市と南伊豆町の3歳から12歳（小学6年生）までの子どもたちを対象に参加者を募集し、応募者100人以上の中から抽選で児童と保護者60人に参加してもらった。バックヤードツアーは各1時間、4グループに分けて行い、ツアーの開始前にはメンバーと参加者で水族館横の海岸清掃を行った。

当クラブでは青少年育成事業としてヨット乗船体験を行っていたが、ヨットを所有するメンバーの高齢化により継続が困難になった。それに代わる新たな事業として企画したが、このバックヤードツアーだ。水族館がある市町村は全国的に見ても多くはなく、地元にある素晴らしい学びの場であり、子どもたちに海の生態系などについて幅広く知ってもらうと企画した。今回で3回目の開催だが、毎年多くの応募があり好評を得ている。



ツアーでは水族館の飼育員から珍しいサメやカメの生態について説明を受け、生まれたばかりの子ガメを観察し、イルカの調餌場も見学した。参加した児童の一人は「サメの標本を実際に触ってみて、鋭い歯に驚いた」と教えてくれた。興奮した様子で観察する子どもたちの姿が印象的だった。

ツアー終了後、水族館の入園券を渡すと、子どもたちは元気に入場していった。

子どもたちの選択肢広げる職業体験フェア

330 A地区（東京都）

【投稿】子どもの未来応援委員会副委員長／岩下浩之

4月2日、330・A地区（東京都／森亮介地区ガバナー）子どもの未来応援委員会は、東京都産業貿易センター浜松町館で「職業体験フェア」を開催した。都内にある児童養護施設24施設の150人、子ども支援に取り組む認定NPO法人キッズドアを通じて困窮家庭の子どもと保護者の幅を広げられるよう、さまざまな仕事を体験してもらった。

趣旨に賛同して参加した組織や企業、個人事業主が出展した職業別ブースは、警察官、消防士、自衛隊、大工、ヘアメイク、IT関係など28業種。業務の一部を体験出来る各ブースにはいずれも長い列が出来ていた。

開始から2年が経ち、各施設とのつながりは徐々に広がってきた。ライオンズにとっては、児童養護施設がどのような支援を必要としているか、自分たちに何が出来たかを考える場にもなり、施設を対象にしたクラブによる奉仕活動が始まったり、施設出身者がメンバーの会社に就職



したり、うれしい事例も生まれている。

職業体験フェアは、子どもたちが将来について考える良い機会となるだけでなく、施設職員がさまざまな職種を知る貴重な場でもあり、企業との直接的なつながりが生まれるきっかけにもなる。このようなつながりが今後も更に広がり、児童養護施設の子どもたちが将来の職業を選ぶ際、より多くの選択肢を持てるようになることを願っている。



大船渡山林火災の復興支援イベント

332 B地区（岩手県）

【投稿】地区アラート復興支援委員会委員長／佐藤慎倫

2月26日、岩手県大船渡市で大規模な山林火災が発生。市は3月9日に鎮圧を発表し、発生から41日目の4月7日になって鎮火を宣言した。この火災によって市の面積の1割に相当する約3370畝が消失、建物の被害は222棟に及び、平成以降で国内最大規模の山林火災となった。

この災害に332・B地区（平野嘉男地区ガバナー）として迅速に対応するため、私はアラート復興支援委員

長として現地に入り、地元クラブの会員と協力してニーズを確認。平野地区ガバナーに報告した後、ライオンズとして何が出来たかを協議し、義援金を集めると共に復興支援事業を実施することを取り決めた。

4月29日、被災された方々へ元気と勇気をお届けしようと、地区内の会員74人が参加して復興支援イベント「ライオン屋台」を開催した。大きな被害を受けた三陸町綾里の会場には、大型のエア遊具を設置し、焼きそば、焼き鳥、豚汁などの屋台と、射的やヨーヨー釣り、ジャンボ輪投げの縁日を出店。274人の来場があり、たくさんの笑顔を見ることが出来た。

332・B地区ではこのような支援を継続的に行っていくことで、被災地に寄り添い、支えていきたいと考えている。大船渡市山林火災に対しては、全国のライオンズから義援金や支援物資のご協力を頂いたことに感謝し上げる。義援金の一部は、今回の復興支援事業での食材等に活用した。



大阪・関西万博でミライ献血会議

335 B地区（大阪府・和歌山県）

【取材】

335 複合地区ライオン誌日本語版委員／北岸秀規

6月22日、大阪・関西万博の会場内にあるフェスティバルステーションで「ライオンズフェスタ2025 ミライ献血会議」が開かれた。万博サブテーマの一つ「いのちをつなぐ」に合わせて、さまざまな方法で献血を知り、体験し、考え、次代につなげることを目的に、335・B地区（古川繁浩ガバナール）が企画した。

第1部は城阪勝喜国際理事（大阪港ライオンズクラブ）による活動報告とライオンズの紹介。会場内は立ち見が出るほどで、一般来場者に認知してもらおう良い機会になった。

第2部は「ミライ献血会議」のプレゼンテーション大会。高校生、大学生などのグループ20組余りの中から予選を勝ち抜いたファイナリスト11組が決勝に挑んだ。日頃から献血



推進活動に励む兵庫県・尼崎レオクラブを始めいずれも献血に對し高い意識を持っており、「未来への提言」として、小学生らを対象とした「献血体験」、会社の定期健康診断と同時に献血を行う「ついでに献血」の制度化、「献血有給制度」の導入、学校教育における「献血の義務化」、献血で「単位認定」など斬新なアイデアが提案された。大阪赤十字献血センターの平山文也所長は「学生たちの提言を今後の献血の推進に役立てたい」と話していた。

すばらしい提言に、審査員5人は頭を悩ませながら、最優秀賞1組、特別賞3組を選考。最優秀賞のチームには、今年11月に大阪で開催される「オセアルレオフォーラム」への招待券がプレゼントされた。



シカの食害に負けず子どもたちと植樹



大分県・日田ライオンズクラブ

【投稿】会長／梶原義一

3月22日、日田ライオンズクラブ（84人）は日田市小野の山林で植樹活動を行った。

2年前、同じ場所に苗木500本の植樹を行い「日田ライオンズクラブの森」と名付けた。翌年も継続して森を育てていく計画だったが、シカの食害により苗木は全滅状態となってしまった。

そこで今年度は森林組合の指導を受け、LCIFシェアリング交付金を活用して、保護資材を添えた苗木450本を植えることにした。普段からつながりのあるソフトテニス協会、日田少年少女合唱団、少年サッカー、少年柔道等の団体を通じて参加を呼びかけ、総勢66人で実施した。日田は林業で栄えてきた町。開会式ではその歴史や恩恵について学ぶ森の教室を行った。参加した子どもたちは森を育てることが地球温暖化防止や国土の保全につながり、私たちの生活に恩恵をもたらしてくれると知り、SDGsへの意識を高めてくれたものと思う。

当日は天候に恵まれ、汗ばむほど



の陽気だった。単純な作業ではあるものの傾斜があつて足元が悪く、思い通りにはいかない。一番下の場所を担当したクラブメンバーは斜面の上から下まで動き回り、全身筋肉痛になったようだ。地元の山に入り、子どもたちと一緒に森づくりをする貴重な経験が出来たことを、とてもありがたく感じている。

子どもたちと共に、苗木も無事に元気に成長してくれますように。

将来のオリンピック。ピアノ育成を支援



北海道・名寄ライオンズクラブ

【投稿】MC・IT委員会委員長／石田十羽完

「第3回名寄ライオンズクラブ杯ジュニアジャンプ大会2025」（主催：NAYOROからジャンプ実行委員会／河本雄介委員長〈名寄ライオンズクラブ〉）が3月30日、名寄市ピヤシリジャンツェで開催された。

大会共催者である名寄ライオンズクラブ（井上幸人会長／46人）は社会奉仕・青少年育成事業の一環として、子どもたちにスキージャンプ競技に興味を持ってもらい、将来はオリンピックに出場するような選手を育成することを目指している。

3月の当クラブ第2例会の冒頭、井上会長から主催者である実行委員会の阿部潤司副委員長に寄付金を贈呈した。第1回大会では20万円を寄付し、名寄ライオンズクラブの名入りのゼッケンと大会のぼり、表彰式用バックボード等の作成に活用された。第2回大会では10万

円、今回の第3回大会では5万円を寄付して運営費用に充てられている。

大会は小学生低学年の部、高学年の部の2部に分かれ、15人が参加した。スペシャルゲストコーチとして、北海道上川郡下川町出身で雪印メグミルクスキー部総監督を務める岡部孝信氏（98年長野オリンピック金メダリスト）、TEAM TSUCHIYAの伊藤有希選手、他2人が参加して大会を盛り上げた。

名寄ライオンズクラブは今後もこの大会を支援していくことにしている。



「将棋のまち」と子どもたちを育む大会



大阪府・高槻ライオンズクラブ

【取材】河村智子

「将棋のまち高槻」として魅力ある地域づくりを目指す高槻市。高槻ライオンズクラブ（古川善美会長／94人）はその取り組みをバックアップし、子どもたちにもっと将棋と触れ合ってほしいと、地域の小学生を対象にした将棋大会を主催している。市が関西将棋会館を誘致したのを機に2年前にスタート。第3回大会は3月29日、子ども連れでにぎわう安満遺跡公園内の多目的室で開かれた。

参加者は女子児童3人を含む36人。予選リーグ、決勝トーナメントと緊張感ある対局が続く会場の外では屋外イベントも行われ、自由対局やはさみ将棋など、誰でも自由に将棋に親しめるコーナーもある。将棋をよく知らない子にも興味を持って



ほしいと、メンバーやボランティアの大学生が子どもたちの対局相手を務めていた。

実力伯仲の決勝戦は長い対局になると予想されたが、局面は急展開を見せ、開始から約15分で前回優勝者が2連覇を決めた。将棋の対局は、一方が「負けました」と宣言するまで終わらない。子どもたちにとっては、負けを認める勇氣を知って成長する機会でもある。

次回は子どもたちがどんな成長ぶりを見せてくれるか期待しつつ、クラブはこの大会を地域に根付かせ、「将棋のまち高槻」の魅力をより一層高めていきたいと考えている。



第9回八尾ボッチャオープン大会

大阪府・八尾中央ライオンズクラブ

【投稿】会長／井上将樹



4月19日、八尾中央ライオンズクラブ（61人）は八尾市立総合体育館で第9回八尾ボッチャオープン大会（結成50周年記念大会）を開催した。前日の18日は会場の設営作業。仕事を終えた午後6時から開始して、コートライン引き、受付の準備、ポスター貼りなど9時までかかって準備万端整えた。

快晴で迎えた当日は午前8時30分に集合。開始前のミーティング後、メンバーはそれぞれ担当の位置で選手の入場を待った。



開会式では来賓あいさつに続き、大阪ボッチャ協会の担当者からルールを説明。手話通訳もあり、選手の皆様さんは真剣な表情で説明に聞き入っていた。

試合が始まると、楽しそうな笑い声や好プレーへの拍手が響き、会場内を大きく盛り上げた。昼食タイムを挟んで、午後からの準決勝は白熱した戦いとなった。小学生ぐらいの選手がボールを手で持って投球しようとして、握る力が弱いために何度か失敗。やっと投げた1球は目標の白いボールには近付かなかったが、一生懸命なプレーに会場から大きな励ましが送られた。この選手は試合後、ボッチャ協会のスタッフからボールの持ち方、投げ方を教わっていた。

各コートで熱戦が続いた末、「優勝」と書いたハチマキをしたおじさんチームが見事優勝した。クラブメンバー、選手、運営を手伝ってくれた学生たち、みんなが充実感にあふれ、良い大会が出来たことをうれしく思う。

青春の1ページを飾る軽音楽フェスティバル

京都南ライオンズクラブ

【投稿】MC・IT委員長／渡部奈穂子



京都南ライオンズクラブ（眞田健二会長／104人）は、京都府内の高校生バンドが一堂に会する音楽イベント「京都府高等学校軽音楽フェスティバル」を、4月27日、京都市上京区のKBSホールで開催した。

結成60周年を記念して実施した事業で、LCIFシェアリング交付金を活用して初めて企画した。軽音楽活動に励む高校生にその集大成となる場を提供し、芸術文化活動の向上・発展を目指すと共に、参加した高校生に薬物乱用防止の啓発を行うこととし、京都府高等学校軽音楽連盟、同高等学校文化連盟軽音楽専門部と共に、京都府及び京都市の教育委員会などの後援を得て、当日は西脇隆俊京都府知事、松井孝治京都市長も来場された。

参加資格は京都府内の高校の軽音楽部や同好会に在籍する高校生バンド。1校2バンドまでとして全高校に告知して募集し、13校21組のバンドが参加した。これからの社会を担う青少年たちに、評価にとらわれず自由闊達な自己表現（みんか）をしてもらおうと、審査・表彰は行わないこととした。



「失敗を恐れず青春の1ページに思い出を刻んでください」という眞田会長の開会宣言の後、演奏がスタート。出演バンドは人気の邦楽ナンバーやオリジナル曲を熱く歌い上げた。ステージ最前列には立ち見席を設け、来場者は軽快な楽曲に合わせて盛り上がりを見せた。

泥にまみれ笑顔はじける田んぼラグビー



熊本県人吉ライオンスクラブ

【取材】河村智子

6月8日、人吉市矢黒町にある田んぼで、人吉ラグビーフットボール協会、人吉ラグビースクールと人吉ライオンズクラブ（馴田崇晴会長／28人）が主催する「第5回田んぼラグビーin人吉」が開かれた。県内各地のラグビースクールの子どもたちやラグビー愛好家、外国人教員のグループなど約150人が参加。ラグビー経験の有無も、年齢・性別・国籍も問わず共にプレーを楽しんだ。

この大会は20年7月の熊本豪雨の翌年に始まった。球磨川の氾濫で市街地一帯が浸水し、競技場に仮設住宅が建ったことから、子どもたちが



ラグビーを出来る場を作り、被災した地域に活気をもたらそうという企画だ。人吉ライオンズクラブでは青少年育成事業として第2回大会に協賛、第3回からは主催者として運営に加わっている。

試合は得点による勝敗は競わず、互いに健闘をたたえ合ってノーサイドとなる。試合が終わると、選手たちは泥まみれのまま近くの小川へ。せせらぎの中に入って泥と汗を洗い流した。

クラブメンバーは開会前の参加者の誘導を担当した他、大会本部に設置したテントで、飲み物やうどんを販売。選手たちは温かいうどんで疲れを癒やした。



歴史をつなぐスポーツ少年団を支援

宮城県・気仙沼ライオンズクラブ

【投稿】会長／斉藤英敏



気仙沼ライオンズクラブ（81人）は5月1日、地域の女子バレーボールチーム、松岩バレーボールスポーツ少年団に対する支援を行った。同少年団には気仙沼市内の小学1年生から6年生までの児童が所属し、現在は14人で活動している。東日本大震災が発生した当時、団員たちは大好きなバレーボールをする場所を失い、少年団そのものもなくなりかけたが、高田俊邦監督が「子どもたちのために何とかしなければ」と牽引（けんいん）してきた。

10年前には「目指せ、県大会！」を掲げていたが、近年は県大会の常連となり、昨年は県大会で3位の成績を残すまでに成長している。今年のチームは「行くぞ、全国大会！」という高い目標を掲げ、夢だけで終わらせることのないよう日々の練習に励んでいる。県外への遠征も増やし、全国大会常連チームとの試合を重ねている最中だ。県大会で優勝し、全国大会で存分に力を発揮したいという夢をサポートすべく、当クラブは支援を続けている。



大会に向けて、少年団ではモデルチェンジされた新しいボールと、高学年と低学年に分かれて練習するためのボールカゴを必要としていたことから、気仙沼ライオンズクラブから寄贈した。

来年は創立40年の記念の年を迎える松岩バレーボールスポーツ少年団は、気仙沼市内の団の中でも古い歴史を持ち、多くの卒団生が春の高校バレーや大学リーグで活躍している。バレーボールはボールをつなぐスポーツ。これまで続いてきた絆と想いをつないでもらうため、これからも応援していきたい。

福澤先生と歩こう！まち歩きマップ

大分県・中津ライオンズクラブ

【投稿】社会福祉教育委員長／山影智一



中津市は明治期、紡績業などで大きく発展したが、城下町はそのまま生活の場として残った。空襲の被害もなかったため、江戸時代の古地図と同じ町割りや道筋、道幅などを今も見ることが出来る。

中津ライオンズクラブ（小川智史会長／92人）は、中津市教育委員会と一緒に子ども版デジタルマップ「福澤先生と中津を歩こう！やさしいまち歩きマップ」を企画。クラブの寄付により中津市教育委員会が制作した。郷土の偉人、福澤諭吉も歩いた「幕末のまち」と「現在のまち」が簡単に比較出来るスライダー機能があり、各スポットの説明には子どもにも分かりやすい言葉を使っている。

市内全小学6年生を対象とした「まちなみ歴史探検」（城下町散策）の学習教材として使われる予定で、大人も十分楽しめることから、観光客にも活用してもらえよう取り組みにしている。

6月7日のお披露目イベントには、市内の小学生と保護者、メンバー

ら総勢約60人が参加し、デジタルマップを見ながら城下町を散策した。参加者からは「市内に住んでいても知らないことが多くあった」「新しい発見があった」と、とても好評だった。

この子ども版デジタルマップが親しまれ、子どもたちが「将来、中津に住み続けたい」「一度中津を離れてもまた帰って暮らしたい」と、「ふるさと中津」に愛着を深めてくれることを願い、末永く活用されることを期待している。



A.P. シン

国際会長

2025-2026年度



リーダーシップこそ奉仕、 奉仕こそリーダーシップ。



この世界を、私たちが受け継いだ時よりよいものにして、次の世代に残したい。力を合わせて行う奉仕が、それを可能にします。

そして、会員を増やすことで、私たちの奉仕はもっと拡大できます。

● ● ● ● ● ● 彼の世界を形造ったもの

A.P.シンの故郷インドは、他に類を見ない国だ。インドは人類文明発祥の地であり、その文化の起源は数千年前にさかのぼる。そんな悠久の歴史にもかかわらず、現代インドはこれまでにない若さと繁栄に満ち溢れている。

コルカタで生まれたA.P.は、詩人タゴールの夢を胸に抱いて育った。

心には恐れがなく 首をすくめることのないところ
世界が狭き内政の壁に 分かつたことのないところ
澄みきった理性のせせらぎが
死せる因習の砂漠に迷い込むことのないところ

そのような自由の聖域へと、我が父よ、
我が祖国を目覚めさせたまえ

そしてこれこそ、A.P.がライオンとして掲げるビジョンだ。

彼は、奉仕とリーダーシップは表裏一体であると信じている。ライオンズは、偉大なリーダーになろうと努力するのではなく、ただ全力で人のために奉仕をしようとする。その奉仕の結果、ライオンズは偉大なリーダーへと成長するのだ。

この奉仕とリーダーシップの融合が、私たちをサーバントリーダーシップというより崇高な境地へと導くものであり、A.P.は、これこそが私たちの組織の目指すべき姿だと考えている。

そういう意味では、彼をライオンズに導いたのは、運命だったのかもしれない。

「ライオンになって、私は人として成長できました」と彼は言う。「そしてライオンとして生きる中で、自分には他者に対する義務があることに気づかされました。

ありがたいことに、それを実行する手段も同時に与えられたのです」

A.P.に影響を与えたのは、故郷で身につけた分かち合いの原則と、ハリール・ジブラーンの思想だ。

あなたが自分の持ちものを与えるなら、まだ少ししか与えていない。

自分自身を与えてはじめて、真に与えたといえる。

自分の井戸が満たされているときにおぼえる渇きへの恐れは、決して満たされることのない渇きではないか？ それゆえ、今すぐ与えなさい。与える季節があなたのものとなり、あなたの相続人のものにはならないように。あなたはしばしば言う、「与えるつもりはある、ただし受けるに値する者にのみ」と。

あなたの果樹園の木々はそうは言わない。あなたの牧場の群れもそうは言わない。

彼らは生きるために与える。出し惜しむことは減びることだからである。

日々夜々を与えられている者が、あなたからその他のすべてを受けるに値しないはずがあるろうか。

生命の海から飲むことを許された者が、あなたの小さな流れで杯を満たすことを許されないはずがあるろうか。

A.P.の価値観のルーツがインドだったとすれば、A.P.の奉仕の人生が動き出した場所はライオンズだ。インド人の心とグローバルな精神を両方持ち合わせた今の彼は、異文化環境の中で、ミッション1.5時代を迎えたライオンズを発展させる準備ができている。

サーバントリーダーとして、A.P.はライオンズの声に耳を傾け、その上で世界のライオンズの代弁者となり、自らが最初の奉仕者（サーバント）として行動したいという強い思いに駆られている。



「ライオンに
なることで、
人として
成長できました。」



MISSION1.5

ライオンズ拡大のビジョン

他の多くのライオンズと同様、A.P.もライオンとして歩み始めた当初は、自分のクラブと地域社会だけに目を向けていた。しかし、世界各地のライオンズフォーラムや大会に参加し、そこで出会ったライオンたちと親睦を深めるなかで、徐々にグローバルな視点で物事を見るようになった。

世界は多様性に富んでいるが、国際理解のための架け橋を築き、地域社会で奉仕することの重要性においては共通している。

世界中のすべての地区を拡大する必要があること、そして力を合わせればそれが可能であることを、A.P.は確信している。

A.P.は言う。「人がいなければ、組織は成り立ちません。」

奉仕のないライオンズクラブには意味がなく、成長しないライオンズ地区は協会への責任を果たしているとは言えない。私たちは伝統を絶やさず、奉仕の灯火を明るく燃やし続けなければならない。より多くの人々に奉仕できるよう、私たちは成長しなければならない。

A.P.は、会員を増やすことを — そしてそれによってもたらされる奉仕の増加を — 私たちが目指すべき最大の目標と考えており、新クラブを立ち上げ新会員を加えることが私たちの未来にとって不可欠であることを、ライオンズにはよく理解してもらいたいと願っている。

「道は二つに一つです。ここで連帯して成長を目指すか、あるいは弱り果て徐々に衰えゆく人

のようにゆっくりと滅びていくか」。ライオンズ・インターナショナルは人類への最高の贈り物であり、自然災害、糖尿病、小児がん、視力障害、気候変動などの社会問題によって立ちこめる絶望の暗雲に一条の光をもたらす存在だ。

A.P.は、ライオン一人ひとりに果たすべき役割と返すべき借りがあると信じている。

私たちは皆、誰かがライオンズに誘ってくれたから、今日ここにいる。私たちのクラブを結成しようと尽力してくれた人がいたからこそ、今日ライオンとして活動している。今度は私たちが地区に次のクラブを作る番だ。

こうして私たちの奉仕が成長する。こうして私たちの伝統が成長する。これこそが、世界中のライオンズがミッション1.5を通じてクラブと奉仕を成長させようと奮起している理由だ。

A.P.は、会員こそが中核だと考える。リーダーシップを揮うのも、奉仕をするのも、会員。

私たちを定義するのも、私たちを動かすのも、会員。そして私たちを前進させるのも会員だ。





「多様性は、組織に新鮮さと活力をもたらします。」



何であれ、価値あるものを築こうとするなら、チームワークと、意識的なアクション、そして情熱と使命感に突き動かされたリーダーシップが不可欠であることを私たちは知っています。それは、ライオンズだけが実現できるリーダーシップです。

組織を拡大してインパクトを高めるためには、私たち全員が協力しなければなりません。奉仕において世界をリードすることで、模範を示さなければなりません。

ライオンズが過去に成し遂げた偉大な業績は、常にたたえられるでしょう。しかし私たちは、協会を成長させることで、素晴らしい現在を確かなものとし、輝かしい未来を創出しなければならないのです。

ライオンズは、リーダーシップを発揮することで社会に奉仕し、奉仕をすることでリーダーシップを発揮するのです。



リーダーシップこそ奉仕、 奉仕こそリーダーシップ。

奉仕するとき、私たちは仲間のライオンズやレオとともに立ち上がります。世界の人々とともに立ち上がります。そして、私たちは思いやりという、奉仕する人全員の心を動かす原動力のために立ち上がります。

レオとレオライオンは、私たちの未来ではありません。私たちの今です。若者たちも大切な主役のひとりなのです。女性と若者には、力を発揮し成長できる空間と自由を与えなければなりません。

変化とは、待つものではなく、起こすものです。



MISSION1.5

**「ミッション1.5は、あらゆるクラブを
もっと力強く、もっと活気のあるものにし、あらゆる奉仕の行
為をもっとインパクトのあるものにするためのものです。」**

には、私たちのあらゆるリソースをその目標達成に集中させる必要があります。

ともに奉仕に力を

ライオンズがライオンズクラブ国際財団 (LCIF) を支え、LCIFが私たちの奉仕を支えます。この協力を通じて、私たちは奉仕を受ける人々や私たちの住む町に投資しています。協会と財団はともに、地域社会が直面する数々の大きな課題に長期的な解決策を見つけます。LCIFを支援することで、あなたもその解決策の一端を担うことができます。

LCIFは、企業、NGO、政府機関とのパートナーシップ構築を精力的に行っています。なぜなら、こうした協力関係が賢明かつ効果的な奉仕を行うカギとなるからです。

LCIFへの寄付は、安全と、安心と、よりよい明日への投資であると、A.P.は信じています。

奉仕に革新を

世界の課題に立ち向かうためには、まず自分自身に課題を課さなければなりません。イノベーションと、常に改善する姿勢を受け入れることで、私たちは活動のインパクトと、会員の満足度、そして奉仕の提供のすべてを向上することができます。

国連の持続可能な開発目標 (SDGs) から地区で特に力を入れたい項目を選び、さらにメンタルヘルス、環境保全、食料支援に集中的に取り組むグローバル

奉仕週間に合わせて事業を計画するよう地区内のすべてのクラブに奨励してください。

各種リーダー研修プログラムも、機会があるごとに組織拡大の重要性を強調するものへと改訂されています。

継続的な改善には終わりはありませんが、始めるべき時は今です。

多様性を歓迎し、皆を受け入れる

私たちは地球上のほぼすべての国で奉仕しています。ですから、ライオンズの奉仕には、もっと多くの人々、特に若者、女性、文化的背景の異なる人々を参加させる必要があります。インクルーシブな環境は、世界に奉仕し世界を反映する組織を作ります。

私たちは、すべてのクラブと地区の文化とアプローチを、若者と女性が参加しやすいものにしなければなりません。

あらゆる人種や性別のメンバーを誘うことが奨励されます。世界中に奉仕を届けているのですから、奉仕の心を持つ人全員に声をかけるべきです。



リーダーとして先頭に立ち、 より多くの手で奉仕を

私たちが奉仕するのは、世界をよくするため。私たちが拡大を目指すのは、その奉仕のインパクトをより大きいものにし、地域社会をより力強いものにし、私たちの未来をより確かなものにするためです。これこそが、ライオンズ・インターナショナルを世界最高峰のクラブ奉仕団体たらしめてきた理念です。

以下にご紹介するグローバル優先項目を推進することで、私たちはこれを率先して行うことができます。

クラブと奉仕を拡大する

ライオンズクラブは「みんなの団体」。ボランティアによる奉仕クラブ団体です。会員が増えることは、奉仕が強化・継続・拡大され、結果として世界の増え続けるニーズが満たされることを意味します。

どの国にも通貨がありますが、ライオンズ・インターナショナルの通貨は会員です。奉仕も、交流も、人脈作りも、PRも、資金獲得も、さらにはLCIFへの寄付までもが、ライオンズとそのクラブによって行われます。常に組織を強化し、入会者と退会者の比率を良好に保つ必要があります。ライオンズがいなければ奉仕は考えられません。私たちの奉仕能力を高め、やむを得ない理由

による会員減少を補うためには、会員とクラブを絶えず増やし続けるほかありません。私たちが未来の可能性を広げていく上で、成長は不可欠です。

会員を増やし、維持し、また新クラブを結成することでミッション1.5に貢献した会員、クラブ、地区には、年間を通じて表彰が行われます。国際協会を拡大成長させることは、すべてのライオンの暗黙の責任であり、選出または任命された役員一人ひとりの会則上の義務です。

ミッション1.5は私たちの協会を動かすオペレーティングシステム(OS)であり、奉仕の帯域幅を広げるため



すべての奉仕が成功につながる

私たちの成功を決めるのは、奉仕です。以下は、奉仕でもっと大きな成功を収めるための主なステップです。

ネットワークを拡大する

世界中に広がるライオンズのネットワークは、世界を身近なものにしてくれます。会員として学び、成長し、つながり、奉仕する機会を目一杯活用して、ライオンズの持つ集合知と、多様な文化的視点、そして成功を自分のものにしましょう。

ライオンズは、ネットワークをさらに拡大することで、世界中で知識を積み上げ、架け橋を築くべきです。A.P.はまた、若い起業家を呼び込むために、できるだけ多くの地区で「ライオンズ・ビジネス・ネットワーク」を構築するよう奨励しています。さらに、奉仕ツーリズムの一環として、他の地区や、国内、海外などを訪問し、訪問先のライオンズと出会い、異なる地での成功事例を学んだり、自分の視点を分かち合うよう奨励しています。

自ら模範を示す

メンバーたちは、リーダーが言って聞かせることに従うのではなく、リーダーがやって見せることに従います。リーダーシップにおいて大切なのは、何人を従えられるかではなく、何人のリーダーを生み出せるかです。

すべての組織は時間とともに進化する必要があります。私たちは変革を促さねばなりません。なぜなら、昨日意味のあったことも、今日には意味を失っているか

もしれないからです。相手の最大限を引き出す模範となり、それによって自分の最大限を引き出してください。そのためには学ぶこと、そして時には忘れることも必要かもしれません。

テクノロジーの進歩についていく

テクノロジーは今や私たちの暮らしの一部であり、奉仕のあり方を改善する新たな機会を生み出しています。若い世代の考え方には戸惑うこともあるかもしれませんが、彼らはデジタル接続が当たり前の環境で生まれ育った全く異なる世代であり、私たちは彼らの意見に柔軟に対応する必要が多分にあります。

組織の力は、その組織が使うテクノロジーと変容する世界への対応力に大きく左右されます。ライオンズはその長い歩みの中で、変化に対応し、成長してきました。今こそ、より多くの人に手を差し伸べてより大きな発展を遂げるために、クラブや地区で人工知能(AI)の力も取り入れるべき時です。

テクノロジーを受け入れ、その進化に歩調を合わせれば、あらゆるレベルの活動にメリットがあり、若い世代のボランティアともよりよく繋がれます。ですから、私たちの前進と発展のためにこうしたツールを活用しましょう。私たちのマントラは、「すべてのライオンが、リーダーとなり、奉仕をし、成長を目指す」です。



奉仕週間

2025-2026

心の健康とケア

2025年10月4日～12日



食料支援

2026年1月3日～11日



環境保全

2026年4月18日～26日

詳しい情報はウェブサイトをご覧ください



WEEKS OF SERVICE



全てのクラブ 全ての地域社会で さあ、共に歩みましょう



世界中のライオンズクラブとレオクラブが、3週間にわたる力強い奉仕活動のために団結します。今こそ、一歩踏み出し、新たなことに挑戦し、人々の暮らしに変化をもたらす絶好の機会です。そして、三つの主要な奉仕分野で地域社会に大きな影響を与えましょう。三つの奉仕週間全てに参加し、奉仕活動の報告をするとは、クラブ優秀賞の基準にもなります。ぜひご参加ください。

地域社会に、そして世界に、私たちが力を合わせれば何を成せるか示しましょう。

全ては今から始まります。

- **クラブを奮起させましょう。**この世界的なチャレンジへの参加に向け、皆を結集し盛り上げましょう
- **計画を立てましょう。**新しい奉仕の方法を考え出し、実績のあるプロジェクトは更にレベルを上げる方法を探しましょう
- **他の人を招待しましょう。**友人、家族、そして未来のライオンズに、私たちの活動を伝える絶好の機会です
- **このメッセージを広めましょう。**奉仕活動を始める前に、実施中に、そして終了後にも、広報を行いましょう。感動を共有し、その効果を称賛しましょう

Lead to Serve,
Serve to Lead.

第107回国際大会

2025年7月13~17日／アメリカ・フロリダ州オーランド

閉会式で A.P. シン国際会長が就任

写真提供: 333-C地区情報テクノロジー委員長／橋本文子(千葉ゆうきのライオンズクラブ)



元水泳選手マイケル・フェルプス氏によるメンタルヘルスに関する基調講演



ドニー・ベンボウ国際第3副会長



インターナショナルショー

第107回国際大会の舞台となったのは、名だたるテーマパークが集まる全米屈指の観光都市、フロリダ州オーランド。大会公式行事の会場はオレンジ・カウンティー・コンベンションセンター。14日のインターナショナルパレードでは、日本は真っ赤なアロハシャツのユニフォームで約800人が行進した。

15日の開会式（第1総会）でファブリシオ・オリベira国際会長がこの1年を総括して2024・25年度を締めくくり、17日の閉会式（最終日総会）ではA・P・シン国際会長の就任宣誓式が行われた。シン新国際会長は「リーダーシップこそ奉仕、奉仕こそリーダーシップ」のメッセージについて力強く訴え、奉仕活動の更なる充実とミッション1・5による会員拡大を力強くけん引していく。インド出身の国際会長は史上4人目。

閉会式で発表された今大会で資格証明を受けた代議員は2881人。2025・26年度国際第3副会長選挙ではオーストラリアのトニー・ベンボウが当選した。会則及び付則改正案3項のうち2項が可決、1項は否決された。主な投票結果は次ページを参照。



インターナショナルパレードでは、日本から2025～27年国際理事に立候補した仁科良三、彩田名部智之への支持をアピール

【代議員投票結果】

- 2025-26年度国際第三副会長
トニー・ベンボウ(オーストラリア・サウスパーモント)
- 2025～27年国際理事(OSEAL地域)
仁科良三(日本・334複合地区)
田名部智之(日本・332複合地区)
Kuo-Yung Hsu(台湾・300複合地区)
Soon-Tac Choi(韓国・355複合地区)
- 会則及び付則改正案

第1項:現地税金および納入金が適用されるクラブに対して、当該税金および納入金を国際協会が請求に含めることを認める決議案 可決

第2項:アメリカ合衆国及びその領域、バミューダ、バハマ諸島の国際理事の定数を偶数年においては1名、奇数年においては2名減らし、南アメリカ、中央アメリカ、メキシコ、カリブ海諸島の国際理事の定数を偶数年において1名増やし、さらに、インド、南アジア、中東の国際理事の定数を奇数年において2名増やすことにより、国際理事の定数を再配分する決議案 可決

第3項:地区ガバナー、第一副地区ガバナー、または第二副地区ガバナーが同じクラブのメンバーであることを禁ずる決議案 可決



331-C 高橋 伸介 たかはし のぶゆき
(北海道・室蘭東 / 2005 年 / 62 歳)



地区ガバナースローガンを「誇りをもとう未来へつなぐ奉仕の心」、キーワードは「Take Action」すなわち「行動を起こす」としました。全国的に人口減少等の問題による影響がありますが、会員増強のためにはまずは自分自身が率先して行動することが大切だと考えています。今期は、特に女性・若手メンバーの増強に向けて活動してまいります。助けを必要としている人々への奉仕活動、地域のニーズに応えるアクティビティをしっかりと考え、1年間活発な組織運営を行い、地区内の皆様と一緒に取り組んでいきます。

332-A 藤田 鉄哉 ふじた てつや
(青森県・むつ / 2004 年 / 57 歳)



ガバナーテーマ「Back to the Basic(原点に戻ろう)」。

もう一度入会当時の熱い気持ちに戻りライオンズを見つめ直してほしいのです。たくさん課題がありますが、原点に戻って考えれば前向きな答えがみつかるはず。

アクティビティスローガン「前へ前へそして・・・前へ」。アクティビティが楽しくなければクラブも楽しくない。伝統的な活動だけでなく、時代に合った新しい活動を始めることも大事です。失敗したっていいじゃないですか。とにかく、やってみることから始め、前に向かって進みましょう。

332-B 廣田 清実 ひろた きよみ
(岩手県・矢巾 / 2005 年 / 66 歳)



アクティビティスローガンは「誇りを胸に 友と集いし 笑顔の奉仕」。世界一の奉仕団体に所属しているメンバーとして誇りを持って活動し、仲間同士のつながりを大切にしたいとの思いを込めました。ガバナーテーマは「志を一つに ウィ・サーブ」。仲間とつながり、志を一つにして集えば、難題に対しても答えを出し、前進する力を得ることが出来ると思います。

一つひとつのクラブ、メンバー同士が思いやりを持って地域に貢献していく姿を思い描き、寄り添って活動していきたいと思っています。

330-C 三浦 宏仁 みうら ひろひと
(埼玉県・川越葵 / 2007 年 / 52 歳)



2027年の目標達成に向けてスタートしたミッション 1.5は後半戦に入りました。前年度掲げられた方針を引き継ぎ、今年度も会員数 2000人を目指します。

ガバナーズテーマには「復元」という言葉を掲げました。当地区には 5年前は約 2000人のメンバーが在籍していました。そこで、5年前の地区に復元しよう、クラブ、メンバー全体を5年前の状態に戻すという方向性で、会員拡大、LCIFの寄付金の目標及び100/100クラブが達成出来るよう邁進してまいります。バランスの取れた地区に復元出来るよう、尽力してまいります。

331-A 山崎 巖 やまざき いわお
(北海道・札幌北の杜 / 2007 年 / 64 歳)



ガバナースローガンは「尊重 共存～会員拡大・奉仕の拡大～」。

互いを理解・尊重しながら共存・融和し、互いを生かしてクラブ活性化の相乗効果を得る。新メンバー・中堅メンバー・ベテランメンバーが自由闊達に意見を出し合い活動する。メンバーの皆さんが、ライオンズクラブの精神である人道奉仕にかけける情熱を、気持ちよく発揮出来る場を提供することが、私の役目と思っています。今期 1年間、331-A地区の全メンバーの力をお借りして会員拡大・奉仕の拡大に励んでまいります。ご協力をよろしくお願いいたします。

331-B 大島 尚久 おおしま なおひさ
(北海道・釧路みなと / 2010 年 / 68 歳)



ライオンズクラブのすばらしさや尊い奉仕の精神を多くの市民に浸透させるには、インパクトのあるアクティビティが欠かせません。ガバナースローガンを「豊かな地域づくりに獅子奮迅」としたのは、その思いを具現化するためです。今のニーズに合ったもので、かつ市民を巻き込める新しい発想の活動に変えていく必要があります。それを実行していくクラブ会長と、自分自身に向けたエールでもあります。会員減少に歯止めがかからないクラブが多く、悩みを抱える当地区にとって、ミッション 1.5はまさに必要な活動です。獅子奮迅でがんばります。

2025-26年度
地区ガバナー紹介

107回オランダ国際大会において就任した2025-2026年度地区ガバナーに、新年度に向けての抱負、方針、重点目標などについて原稿を頂いた。

氏名(所属クラブ名/ライオンズ入会年/年齢)

*年齢は、7月17日に開催された国際大会閉会式で地区ガバナーに就任された時点のもの。記載は任意。

330-A 上野 繁幸 うのの しばゆき
(東京江戸川 / 2006 年 / 58 歳)



330-A 地区では、2024-25年度にリジョン・ゾーンの再編成を行い、今期は新たな体制・環境の下で、心新たにライオンズ活動を展開してまいります。

ガバナーズテーマは「女性・若者の力を生かし、多様な仲間とともに未来へつなぐ奉仕の輪」。活動のマンネリ感を打破し、新しい仲間と共に「ALL 東京」を合言葉に、地区の更なる発展を目指す「変革の一年」とします。会員一人ひとりの力を結集し、多様性を尊重した奉仕の輪を広げ、よりいっそう活気あふれる地区運営を目指します。

330-B 森川 吉孝 もりかわ よしたか
(神奈川県・横浜サソット21 / 2008 年 / 58 歳)



A. P. シン国際会長が提唱されている「ミッション 1.5」を確実に実行していくことが使命です。「楽しくなければライオンズではない」という言葉があります。この二つをつなぐことが重要です。楽しく奉仕を行い、多くの仲間を集めて、地区においてライオンズクラブの活動を拡大することが、私のガバナーとしての活動目的になります。

地区の皆さんと共に笑顔あふれる奉仕を行っていくこと、多くの仲間とライオンズクラブの未来を語っていくことにより、未来を切り開いていきます。

333-C 廣瀬 直樹 ひろせ なおき
(千葉県・浦安 / 2001 年 / 65 歳)



世界のニーズに応じていくために、ミッション1.5を進行中です。「人道奉仕におけるグローバルリーダーになる」というビジョンが、着実に現実のものとなっています。333-C地区では国際戦略を踏まえながら、地区、クラブの活性化のために七つのSTORY(物語)を描いています。それらのSTORYを実行することで、最終的な目標である「地域の人々がライオンズクラブがあることを誇りに思う奉仕活動」を実践していきます。ガバナーズローガンは「未来への布石『The challenged』」。可能性を秘めた仲間たち、未来への布石を打とう！

332-F 野宮加代子 のみや かよこ
(秋田県・鷹巣 / 2015 年 / 70 歳)



秋田県の抱える課題はまさに、当地区のライオンズクラブにおいても大きな課題となっています。ライオンズクラブの誇りと友愛の心をいま一度思い起こし、一丸となり課題に取り組んでまいります。ガバナーテーマ「笑顔と友愛 未来に響く 秋田の鼓動」、アクティビティスローガン「Happy Days 笑顔で繋ぐ 奉仕の輪」を掲げ、メンバー同士のつながりをより強くし、笑顔で楽しい332-F地区を目指して、1歩 2歩と前に進んでまいります。

世界一の太鼓のごとく「332-F地区、ここにあり！」と響かせます。

332-C 斎藤 孝一 さいとう こういち
(宮城県・多賀城 / 2006 年 / 67 歳)



ガバナーズローガンを「支え合おう」、アクティビティスローガンを「コミュニケーション溢れる332-C」といたしました。

ライオンズクラブにはさまざまな問題や課題があります。我々が生活する地域社会の中にも多くの問題があります。それらの問題、課題を解決するために、メンバー同士が互いをリスペクトしながら、クラブ活動を推進していきたいと思ひます。

地域の多くの方々に喜びと安心をお届けすることを目指して、また、地区内クラブに寄り添い、支え合いながら、この1年ががんばる所存です。

333-D 荻野 匡司 おぎの ただし
(群馬県・富岡 / 2010 年 / 61 歳)



地区ガバナーズローガンを「新たな視点を」としました。身近なところで視点を変えて発想することにより、大きな改革へと進む一歩が踏み出せると考えます。

地区内の皆さんと力を合わせて行動し、一人でも多くの会員を増やし、共に楽しく奉仕活動に取り組んでいくために、ミッション1.5の達成に向けて邁進いたします。

みんなで考え、声を出し合い、多くの人へ呼びかけることにより、LCIF、ミッション1.5、指導力育成などの取り組みを進め、多くの仲間と共に楽しくライオンズ活動に励んでまいります。

333-A 林 隆行 はやし たかゆき
(新潟県・佐渡 / 1993 年 / 60 歳)



今期のガバナー・スローガンは「1万円札の渋沢栄一翁の座右の銘『順理則裕』」としました。「理に順えば則ち裕なり」。渋沢風に解釈すると「公益を追求することが私益をもたらす」となります。奉仕をして地域のためになることが、結果的に自らを含む皆を幸せにし、地域の繁栄につながると私は思っています。

今期ガバナーになるという天命を感じ、新潟のため、日本のため、世界のために私の持てる能力を最大限に発揮して、一生懸命がんばりたいと思います。

332-D 酒井 富也 さかい とみや
(福島県・梁川 / 2001 年 / 67 歳)



ガバナーテーマを「UPDATE ライオンズ ライフ!」、アクティビティスローガンを「起こそう新たな行動を 創ろう新たな奉仕の和」としました。

結成から 50 年を経たクラブが過半となった今、経験豊かな会員と新たに迎える会員が同じ方向を目指し、地域に奉仕する姿がもっと市民に理解されるようにすると共に、メンバー一人ひとりが充実感、満足感を得られるアクティビティを推進していきたいと思ひます。奉仕活動を通して会員の増強に努め、笑顔で活動出来る楽しい1年にしていきたいましよう。

333-E 若林 純也 わかばやし じゅんや
(茨城県・水戸葵 / 2009 年 / 56 歳)



ライオンズクラブは世界最大の奉仕団体ですが、現在は会員減少の危機に瀕しています。今後もすばらしい団体であり続けるため、クラブと協働することを第一とし、より良い奉仕事業の構築、より良いクラブづくりに邁進し、会員減少の問題にも取り組んでまいります。

地域の課題に向き合い、地域のためにあり続けることがライオンズクラブの最大の使命です。1年間、皆様のご協力とご支援をいただけますようお願いいたします。

333-B 前原 正義 まえはら まさよし
(栃木県・石橋 / 2008 年 / 67 歳)



「未来へつなごう We Serve!」をガバナーズローガンとしました。

これまで培ってきた奉仕活動の成果を次世代に引き継ぎ、新たな可能性を開き、地域、世代、価値観を超えた連帯を通じて、持続可能な活動を目指します。アクティビティスローガンは「One for all, All for one」(一人は皆のために、皆は一人のために)です。

一人の奉仕活動は多くの人の助けになります、また、組織での奉仕活動は世界の一人ひとりの命を救うことになります。

332-E 横山 昭子 よこやま しょうこ
(山形県・米沢松川 / 2000 年)



ガバナーテーマとして「Unite for the Future! (未来に向かって、心をついに!)」を掲げます。キーワードは「3F・F&C」です。

3FはFun(楽しいライオンズ)・Friendship(友情育むライオンズ)・Future(未来へ続くライオンズ)、そしてFemale & Children(女性と子どもに優しいライオンズ)。楽しいクラブと楽しい奉仕。メンバー同士が仲良く友情を育む。奉仕の仲間を増やし心をついに活動していくことで、ライオンズクラブは未来に続いていく。そして、男性も女性も一緒に活躍出来る。そんな332-E地区になるよう、がんばります。

335-B 笹部美千代 ささべ みちよ
(大阪府・岸和田コスモス/2003年)



地区ガバナースローガンを「奉仕の愛を上げましょう～未来への架け橋～」としました。「We Serve」の言葉が、私たちメンバーの誇りであり絆です。この奉仕の精神を胸に、私たちは互いに思いやりを持ち、新しい奉仕の形とそのニーズを探し続けます。

また、志を同じくするメンバーを迎え入れることで、より大きな力となり、クラブそして地区全体の強靱化へとつながって、未来への架け橋となることを期待しながら、共に力強く前進してまいりましょう！

335-C 田端 俊三 たばた しゅんぞう
(京都鴨川/2002年/62歳)



今までひたすら前へと進んできた一直線の道は、急激な人口減少(昨年1年間で90万人減少)で大きく曲がりだしました。道を外れないようハンドリングすれば、仲間と共に勇氣と自信を持ってカーブを曲がり切れると思います。ただ、急なカーブなので荷物を全て積んだままでは転倒する恐れがあります。重心を変えるため座席の移動も必要です。こうした断捨離・再構築も含め「ステータスからライフスタイルそしてライフワークへ」という意識の変化からスタートです。希望ある未来へ伸びる道を走り続けられるよう誠心誠意行動します。

335-D 船橋 佳照 ふなはし よしてる
(兵庫県・加古川中央/2004年/68歳)



地区の会員減少を止め、増員を目指し、新しいクラブ・クラブ支部の結成を進めます。スローガンは「『為せば成る』MISSION1.5」としました。まずは原点に戻って皆さんと改善に取り組み、次の時代に合った各クラブの奉仕事業、運営を推進します。地区においても、皆さんとの絆を深めて奉仕事業と運営に取り組み、より良い地区にしていきたいと思ひます。

ガバナーテーマは「『原点回帰』～絆を深めて次世代への展開～」とし、皆様と一緒に全力で邁進してまいります。

334-D 森川 直之 もりかわ なおゆき
(福井イースト/2005年)



334D地区の未来に向けて活性化を図るため、10の新クラブ設立、14のクラブ支部増設、会員数10%アップを目標とします。

更に、LCIFへの全員協力、若手育成、能登地域支援、事務局のDX(デジタルトランスフォーメーション)推進に取り組みます。「情熱で未来を築こう 創造しよう 10年後のライオンズクラブ」の下、全会員と共に、必ず結果を出す一年を目指します。

334-E 飯田 重光 いいだ しげみつ
(長野みすず/2002年/64歳)



ミッション1.5が折り返しの3年目に入ります。新クラブ・クラブ支部のエクステンションにより会員拡大を進め、地域ニーズに合ったアクティビティを実施します。新たに50歳以下のメンバーで「次世代チーム」を結成し、ライオンズを学びつつ「会員拡大」「LCIF推進」の更なる浸透を図ります。2025年内に「エクステンション」「会員拡大」「LCIF」等の目標を実現し、2026年の年明けからは「退会防止」「楽しい地区年次大会」の仕込みを行う計画です。

次世代につなぐ334E地区～今変化の時「Change for Lions club」～

335-A 栗栖 正明 くりす まさあき
(兵庫県・神戸(ホスト)/2007年/64歳)



ガバナー・テーマ「拍手喝采」は、ライオンズが地域社会と共に奉仕に邁進する立派な姿に心より称賛の拍手を送り、仲間が団結してその成果を祝う、そして更なる発展へつなげる起点にするという思いから掲げました。また、アクティビティ・スローガン「オールジェネレーションの融合と活力」を実践することにより、最大の課題である会員拡大を目指します。

全世代のライオンが丸となり、助け合い、考察し、計画を立ち上げて行動に移す時、物事は大きく動き出します。それがライオンズの力です。

334-A 速水 清朗 はやみ せいろう
(愛知県・名古屋中村/1991年/66歳)



ガバナースローガン「動けば変わる! We Serve」。行動すると必ず何かが変わります。2025年度は、ミッション1.5達成のため、新会員の地区会費、大会費を無料としました。この機会に各クラブには奉仕活動や運営を見直していただき、年度内に新会員600人の入会、三つの新クラブ結成、17の新クラブ支部結成を果たします。

会員拡大につながる事業として、知名度をアップする大型イベントの開催、リジョン及びゾーン単位での合同アクティビティ推奨、子どもたちのための無料塾開校など、インパクトのある活動を進めます。

334-B 加藤 謙一 かとう けんいち
(三重県・津西/1993年/76歳)



今年77歳になる。同期の地区ガバナー35人の中で最年長ではないかと思う。7人の子に恵まれたが、みんな元気に成長し、今は妻と2人暮らしをしている。現役の弁護士として働きながらキャビネットの準備を進めてきた。「open a new chapter we serve!」が今期の地区スローガンである。大きな変化を求められているライオンズクラブを新しいchapter(章)に導こうという、意欲的なスローガンを掲げた。地区のメンバーがライオンズに誇りを持って奉仕事業を展開してくれることを願いつつ、活躍するメンバーに喜んでもらえるよう活動したい。

334-C 杉山 節雄 すぎやま せつお
(静岡/2001年)



今年度スローガン「We Serve 新たな奉仕に一步を踏み出そう」には、現状にとどまらず、未来を見据えた新しい奉仕活動に挑戦したいという強い思いを込めました。ライオンズクラブの原点である「We Serve」の精神を大切にしながら、仲間と共に新たな一步を踏み出してまいります。特に「子どもの貧困問題」に重点的に取り組み、困難な状況にある子どもたちへ支援の手を差し伸べ、地域社会の未来と共に築いていきたいと考えております。

337-C 川原 保治 かわはら やすはる
(長崎県・諫早東 / 1996 年 / 59 歳)



今期、私たちが共に目指すのは、奉仕の輪を広げ、未来を創造することです。これまでに築き上げた基盤を大切にしながら、新たな視点を取り入れ、より多くの人々を巻き込み、社会のニーズに対応した奉仕活動を展開したいと考えています。そのためには、皆様の情熱とアイデアが不可欠です。積極的なご協力をお願いすると共に、地区としても最大限にサポートしてまいります。皆様のこれまでのご尽力に感謝申し上げます。そして、この一年間共に手を取り合い、更にすばらしい奉仕の歴史を刻んでいける

336-D 日下 眞二 くさか しんじ
(島根県・出雲中央 / 2008 年 / 58 歳)



世界は大激変の様相を呈し、猛スピードで変化しています。地球規模で環境が破壊され、自然災害が猛威を振るい、貧富の差が拡大。犠牲になるのは子どもたちです。私たちが果たすべき役割は重く、期待は無限に大きいと感じます。今こそ何を最優先に行動すべきかを考え「われわれは奉仕する」の精神を未来へつなげたいと考えます。そのために今ある良いものと、次世代リーダーとなる若い人たちをつなげる活動(キャンパスクラブ・クラブ支部設立)を通して会員拡大を図り、ミッション 1.5 達成へ全力で取り組みます。

336-A 向 和人 むかい かずひと
(徳島すだち / 2004 年)



当地区は四国4県で構成されており、地区の会員数は約4800人。少子高齢化により会員数は減少していますが、昨年度は3クラブが結成され、15のクラブ支部が誕生しました。これは地区内のクラブに刺激を与え、伝統あるクラブにも新しい活力を与えるものと信じます。この良い流れを絶やすことなく、次世代へ継承出来るよう活動してまいります。そして、新しい会員の新しい考え方を尊重しながら、地域の奉仕活動につなげていくことを願います。今期の地区目標は会員数5000人、LCIF寄付は1人100ドルで50万ドルを目指します。

337-D 脇黒丸一典 わきくろまる かずのり
(鹿児島黎明 / 2008 年 / 74 歳)



我々ライオンズは「We Serve」の精神を胸に、楽しく笑顔で奉仕活動に取り組み、会員が誇りを持てるクラブ運営を目指しています。奉仕は多くの人に喜びと笑顔を届けること。LCIFへの寄付では「1人の100歩より100人の1歩」の考えの下、全会員の小さな協力が大きな支援につながります。今後は「老・壮・青」各世代のバランスを取り、性別や年齢を問わず誰もが参加しやすいクラブづくりを進め、持続可能なライオンズの未来を築いていきたいと考えています。

337-A 松村 誠 まつむら まこと
(福岡県・北九州小倉東 / 2007 年 / 66 歳)



伝統を継承しながら、ライオンズの新しい在り方を模索したいと考えています。奉仕に対する若い人たちの熱意は年々高まっていると感じます。この世代をいかに招請し、育成していくかが大きな課題です。それが達成出来れば、ライオンズクラブの将来を輝かしいものに出来ると思います。

今期のガバナー提言は「思いやりと感謝」です。人にやさしい世界にしていけるには思いやりと感謝の気持ちが大事です。他者の幸せを考える利他の精神を基軸に据え、会員の皆様と共に奉仕事業に取り組んでまいります。

336-B 榎本 明 えのもと あきら
(岡山県・総社雪舟 / 1989 年 / 77 歳)



我が336-B地区の初代地区ガバナーは榎原勝巳です。日本で初めて「献眼」を全国に呼びかけた人〜つまり「献眼登録第1号」です。そして実際に献眼されたのは、当時の岡山県知事、三木行治でした。榎原は、現在小生が籍を置く(一財)淳風会の初代理事長でもありました。私は、このお二人を我が地区の誇り、我が岡山県民の誇りとして尊敬し続けています。昨今、このライオンズの誇りを忘れがちなメンバーも見受けられる中で、私はスローガンを「誇り高く We Serve」とし、諸先輩方の功績を胸に刻んで邁進したいと思います。

337-E 熊宮 敏紘 くまみや としひろ
(熊本英 / 1993 年 / 57 歳)



世界情勢が目まぐるしく変化する今、ライオンズの役割はより一層重要性を増しています。分断や対立が深まる世界において、地域社会の連帯を強め、人々の心をつなぎ付ける活動こそが、平和な未来への礎となると信じます。地区ガバナーの重責を担うに当たり「We Serve」を胸に時代の変化に柔軟に対応するため、ガバナーテーマを「不易流行」としました。会員が手を取り合い、青少年育成、地域活性化、環境保全に注力し、未来へつなげる活動を推進します。会員の皆様と共に新たな歴史を築くため、精いっぱい努めます。

337-B 増田 勝也 ますだ かつや
(大分県・宇佐 / 2005 年 / 70 歳)



スローガン「変革 創造 信頼 そして一歩前へ」、モットー「Action!」。

世界では紛争や分断が続き、災害が頻発しています。人口減少が進む日本は、厳しい岐路に立たされています。これらの困難を乗り越え、信頼と絆を深め、未来に向けて前に進んでいかなければなりません。

ライオンズクラブの原点は奉仕活動です。一歩前に踏み出し、「変えなければならぬもの」と「変えてはいけないもの」は何か、知恵(情報と知識)を駆使して見極めてまいります。

336-C 宮本 浩二 みやもと こうじ
(広島西北 / 2006 年 / 57 歳)



4年目となるGMA・3年目となるMISSION1.5・地区目標設定プロセスの戦略を統合することにより、会員拡大の取り組みを新たな高みへと引き上げ、クラブ・地区・複合地区を強化する「複合型の戦略」に取り組んでいく所存です。

また、被爆80周年を迎え、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向けた決意を新たにし、そのための取り組みを一層強化するため、広島から平和の大切さを発信し、平和に関する各種事業を推進いたします。会員皆様に寄り添い全身全霊で職務を全ういたします。

国際理事だより

ドイツライオンズを視察して

5

月2〜7日、国際理事候補者として次の三つの目的を持ってドイツを訪問した。

- ①ライオンズクラブ事務局を訪問し地域貢献活動と国際的な取り組みの視察、協力の可能性の探求。組織構造や日本との違いの確認
- ②ドイツの教育システムや学校文化の視察、異なる教育方針とその効果の比較
- ③ドイツの介護施設の運営やサービス内容の理解、介護現場の課題と解決策の学び。ドイツ特有の文化やコミュニケーション方法の現地視察

ドイツと日本は直系家族制度が同じである。つまり長男が家督相続し、次男三男は優秀であっても家を出なければならぬ、その優秀な次男三男が精強な軍隊をつくり、戦後は優秀な工業社会をつくった。
ライオンズクラブの組織においては、両国で大きな相違点がある。ド

イツライオンズの特徴と違いを知ること、今後の日本ライオンズの在り方を考える上で、大きな意義があると考える。

【ドイツライオンズの特徴】

◆複合地区が一つ

ドイツ全国をカバーする11複合地区の中に、17の準地区(例:11-NW、11-SNなど)がある。複合地区は「国事務局(Gesamtbüro)」で統括される。

◆中央集約型の事務局運営

事務局は原則として1カ所に集約(現在はウィースバーデン)。非常に効率的な組織で、会員データや財務の他、全国レベルの活動や広報も一元管理し、デジタル化も進んでいる。

◆全国統一の戦略

教育(Klasse2000)・衛生(WASH)・青少年(Youth Camps & Exchange)など、全国規模で統一的に実施する重点プログラムがある。個々の



●国際理事
仁科良三(長野県・長野みすず)

にしな・りょうぞう…49年生まれ。(株)ホンダカーズしなの代表取締役。79年長野みすずライオンズクラブ入会。09年度クラブ会長、13年度ゾーン・チェアパーソン、19年度334-E地区ガバナ―、20年度334複合地区ガバナ―協議会議長、21年度一般社団法人日本ライオンズ理事。

クラブの活動もあるが、ドイツ全体で一つのブランドとして動いている感覚が強い。

◆国際協調に積極的

EU内での他国との連携や、難民・



戦争被害者支援などの活動に、ドイツ国内のクラブ全体として関わる姿勢が顕著。ウクライナ支援や発展途上国の医療支援など、国境を越えたプロジェクトが多い。

【日本との違い】

◆複合地区の数

ドイツ…1(11複合地区)

日本…8(330〜337複合地区)

◆事務局の構成

ドイツ…中央に一つの事務局

日本…各複合地区ごとに独立した事務局

◆運営の一体性

ドイツ…高い(全国統一戦略)

日本…地域独立

◆重点プログラム

ドイツ…統一されている(Klasse2000など)

日本…地域によって異なる

◆組織の柔軟性

ドイツ…スリムで効率重視

日本…地域密着・自治が強い

ライオンズクラブ発展の礎に

第

107回国際大会が7月14日から17日に、アメリカ合衆国フロリダ州オーランドにおいて開催され、334複合地区のライオン科良三と共に国際理事に選出していただきました。

今年度のA・P・シン国際会長は、副会長時代からミッション1・5を熱心に推進し、今期も最優先事項として掲げられました。しかし、このミッションは日本のみならず世界中で難しいと思われる課題です。

私は27歳の時にライオンズクラブに入会しました。父も熱心なライオンで幼い頃からクラブの家族会など多くのイベントに参加していたため、40年以上ライオンズ活動に携わっています。父の信用もあり、先輩ライオンは息子である私に対し多くのチャンスをくださり、若くしてクラブ三役、地区委員長、地区幹事、複合地区役員、地区ガバナー、更に複合地区ガバナー協議会議長、一般

社団法人日本ライオンズ理事長、日本GAT副エリリーダーと多くの責任ある役割を経験させていただきました。

それは単に面倒な役割を押し付けられたわけでも、私が名誉や役を欲したわけでもなく、クラブや準地区・複合地区・日本ライオンズと、その時々に関与しなければならぬさまざまな課題や役割に自分なりに必死で取り組み続けた結果なのだと思います。

私は決して能力が高いわけではありませんが、人に恵まれたおかげで各役職において目標やミッションを遂行し、良い結果を出すことが出来ました。これまでのライオン歴において、私がライオンズクラブに明確に貢献出来た分野は「新クラブ結成」と「会員拡大」だと自負しています。国際協会はミッション1・5を最重要事項と位置付けているにもかかわらず、多くのクラブや会員が「新



●国際理事
田名部智之（青森県・八戸）

たなぶ・ともゆき・75年生まれ。(株)田名部組・(株)田名部ホールディングス代表取締役CEO。02年八戸ライオンズに入会。11年度332IA地区幹事、15年度クラブ会長、21年度地区ガバナー、22年度332複合地区ガバナー協議会議長、23年度一般社団法人日本ライオンズ理事長、24年度日本GAT副エリリーダー。

クラブ結成は無理」「会員拡大は難しい」と思っているのが現状です。そのマインドが原因となり会員減少が下げ止まらなくなっているのではないのでしょうか。

私は国際理事として、一点集中「会員拡大」に挑戦します。一点と言っても、会員拡大のためには奉仕の充実など必要な事項が複数あります。具体的には次の七つの事項に取り組み、国際協会の発展に寄与したいと考えております。

- ①ライオンズクラブのPRとブランディング（会員・未会員）
- ②会則地域・複合地区・準地区の調査
- ③会員拡大や新クラブ結成に必要なルール作りとルールの改正
- ④人材育成（会員・リーダー・入会予定者・ガイディングライオン・元地区ガバナー）
- ⑤新クラブ結成に向けたチーム作りと組織の整備（ツール作り）

- ⑥多くのリーダーが一歩踏み出せるよう、励まし共に行動する
- ⑦地域奉仕へ光を当てる（会員満足度アップ・奉仕受益者の満足度アップ・奉仕のニーズ）

以上、これまでの経験と実績、人脈を基に国際理事の責任と権限を持って力強く活動します。それにより、「ミッション1・5の成功」と「新クラブ結成と会員拡大」が無理なく、そして持続可能かつスピーディーに進みます。

私は国際理事に就任しましたが、若干50歳と人生経験の浅いライオンですので、皆様からのご指導ご鞭撻のほど切にお願い申し上げます。

これから2年間の任期、仁科良三国際理事と共に、会員のため、奉仕受益者のために誠心誠意、ライオンズクラブ発展の礎となるべく全力で取り組む所存です。

共に奉仕に邁進しましょう。よろしくお願いたします。

世代を超えた夢 質の高い教育を

●インド

今 から40年以上前、慈善活動に意欲を燃やし、大きな夢を抱いたサロジとラルジの

メロートラ夫妻は、インドの小規模なコミュニティで少女たちの教育を支援する壮大なビジョンを描いていた。若い2人はマハトマ・ガンジーの教育理念を指針とし、その夢を永続的に支える「サーラ教育信託」を設立した。

明確な教育ビジョンを持つこの信託は、四つの教育機関の設立を推進し、更に六つの学校を支援。1982年以来、恵まれない地域の子どもたちに対する正規教育、職業教育、技術教育を統合的に提供してきた。また、カルナバティ・ライオンズ教育財団との長年にわたるパートナーシップを維持し、その使命を更に推進している。

サーラ教育信託とライオンズとの協力関係は2000年に始まり、02

年にはグジャラート州アフマダーバードにラルジ・メロートラ・ライオンズスクールを開校した。これはサーラとライオンズ双方にとって夢の実現だった。インド中等教育認定校として包括的なカリキュラムと英語教育を提供し、生徒たちの職業選択の幅やさまざまな機会が広がるよう支援している。

「インドのライオンズクラブの父」として知られる故ローイット・C・メータ元国際会長（1992年度）は、このプロジェクトを大きな誇りにしていた。メータ元国際会長の子息、アヌジ・メータ地区ガバナーは次のように話す。

「子どもたちのために学校を建てるという父の夢は、ライオンズスクールの開校によって実現しました。私たちは、しっかりとした教育の基礎に加え、文化、人格形成、そして礼儀作法にも重点を置くことで他校と

の差別化を図りたいと考えています。そして、子どもたちの成長を喜ぶ保護者の姿に、この取り組みの成果を実感しています。私は父の足跡を継ぐこと、生徒たちに教育という遺産を残せることを誇りに思っています」

サーラ教育信託は3世代にわたって大切に受け継がれ、多くの人々の



夢を刺激してきた。メロートラ夫妻の孫で、同信託の執行理事を務めるチェタン・メロートラは「この学校が提供する質の高い教育は需要が高く、長年にわたる生徒数の増加によってその実力を証明してきました。現在は約1400人の生徒が在籍し、キャリアを積んだ卒業生たちからは素晴らしい成功談を聞いています」と述べる。

ラルジ・メロートラ・ライオンズスクールは最近、ライオンズクラブ国際財団（LCIF）インド支部と、25万ドルの企業社会的責任（CSR）パートナーシップを締結し、就学前の子どもたちのための学校を建設することで、より多くの教育サービスを提供している。インドCSRナショナル委員長のプラビン・チャジエド元国際理事は、このライオンズスクールは信じられないほどの変化をもたらしたと確信している。

「サーラ教育信託とのパートナーシップを通じて、長年にわたり質の高い教育サービスを提供してきました。その結果、現在では市内でトップ10に入る教育機関とみなされており、今後も拡大を続けていきます」

（文／シェルビー・ワシントン）

監査委員会

決議なし。

会則及び付則委員会

1. 標準版地区会則及び付則に収録されている地区ガバナー、第一副地区ガバナー、第二副地区ガバナーの指名委員会チェックリストを改訂し、各役職の候補者が就任資格を得るためには地区指名委員会報告の前日までに所属クラブがグッドスタンディングになっていればよい旨を明確にした。
2. クラブ、地区、または複合地区の財団の年次報告に関する要件を改訂し、最新の役員の報告は毎年必要だが、規約文書については過去に承認された版に変更が加えられた場合にのみ、確認のため最新版の提出を義務づけるものとした。

大会委員会

1. フロリダ州オーランドにおける 2025年国際大会の日割許容額を、食費 1日 120ドル、宿泊費 1日 240ドルに改定した。
2. 中国・香港における 2026年国際大会の日割許容額を、食費 1日 180ドル、宿泊費 1日 300ドルに改定した。
3. 理事会方針書第 8章を全文改訂した。

地区及びクラブ・サービス委員会

1. 324複合地区を 3241複合地区と 3242複合地区に分割する、324複合地区からの地区再編成案を承認した。この地区再編成案は、2025年国際大会の終了時に有効となる。
2. 地区ガバナーならびに第一および第二副地区ガバナーが同一クラブ内から同時に任期を務めることを防止するため、国際付則第 8条第 7項「地区キャビネット」を改正する案を承認した。
3. 理事会方針書第 7章「会則及び付則」Exhibit Aに定められる標準版地区付則第 2条第 5項「地区ガバナー空席」について、元地区ガバナーが地区ガバナーの空席を補充できるのは一回までとする変更案を承認した。
4. 2025～ 2026年度の新たなクラブ優秀賞基準を承認した。
5. 地区大会の開催地選定に向けた意思決定プロセスに関する地区付則の許容的規定との整合性を確保するため、理

事会方針書第 7章 Exhibit Aに定められる標準版地区会則第 7条第 1項「開催日時及び場所」を改訂した。

6. 理事会方針書第 5章「クラブ」F項「非常時ステータス」2.を改訂し、非常時ステータスに置かれたクラブの四半期状況報告書をライオンズクラブ国際協会に提供するように地区ガバナーに要請するものにした。

財務及び本部運営委員会

1. 赤字となる 2024～ 2025会計年度第 3四半期の収支見通しを承認した。
2. 執行役員旅行及び経費払戻し方針を改訂し、国際会長とその同伴者による無制限のファーストクラス利用規定を廃止した。ただし、客席クラスが二つしかない場合は、予算の範囲内であればこの限りではない。
3. 理事会方針書第 9章「地区役員及び組織」を改訂し、地区ガバナー予算と地区ガバナー予算要請プロセスに関する文言をより明確なものにした。
4. 理事会方針書第 9章「地区役員及び組織」を改訂し、地区ガバナー訪問中の食費の払戻しに領収書の提出が必要となる条件を明確化した。
5. 理事会方針書第 21章「旅費及び経費払戻し」を改訂し、飛行機での移動時に休息日が認められる場合の利用のタイミングを明確にした。
6. 理事会方針書第 21章「旅費及び経費払い戻し」を改訂し、理事会方針書第 14章「リーダーシップ開発」に合わせ、「新任理事オリエンテーション」の表記を「一年目国際理事、理事会アポインティ、レオライオン理事会リエゾン対象オリエンテーション」に置き換えた。

リーダーシップ開発委員会

1. 2025～ 2026年度第一副地区ガバナー／地区ガバナーエレクト・セミナーのカリキュラム計画を確認した。
2. 最新の 2026年地区ガバナーエレクト・セミナー・グループリーダー・チームを確定した。
3. 理事会方針書第 14章 E項 11.a.を改訂し、大会におけるグループリーダーおよびアソシエイトの正しい宿泊日数を示

すものにした。

4. 理事会方針書第 9章 C項を改訂し、対象となる経費が 2025～ 2026年度第一副地区ガバナー／地区ガバナーエレクト研修の形式の変更に沿ったものにした。
5. 理事会方針書第 9章 I項 8.を改訂し、2025～ 2026年度第一副地区ガバナー／地区ガバナーエレクト研修の形式の変更を反映したものにした。

長期計画委員会(2024年 8月会議の報告)

1. 理事会方針を改正し、年次ライオンズ・インターナショナル戦略計画プロセスの導入を反映させるものにした。
2. 理事会方針を改正し、ライオンズ国際宣誓にライオンズクラブ国際財団への言及を加えた。

マーケティング委員会

1. コアバリューの改訂を採用し、理事会方針書第 6章を変更するものとした。
2. 理事会方針書を改訂し、現行の実務との一貫性と整合性を担保するため第 20章「出版」を差し替えた。

会員増強委員会

1. 理事会方針書第 22章「レオクラブ・プログラム」を改訂し、独立性を高め、クラブ名称の規約に関するガイダンスを加え、クラブの大きさに比例して支払いが大きくなる料金体系を作ったほか、方針を現行の実務に合わせた。
2. 理事会方針書第 10章「エクステンション」を改訂し、中国の領域を追加した。
3. 2025～ 2026年度コーディネーター・ライオン名簿を承認した。
4. 理事会方針書第 24章「グローバル・アクション・チーム」を改訂し、コーディネーター・ライオンの責務を拡充した。

奉仕事業委員会

決議なし。

テクノロジー委員会

決議なし。

上記要約のいずれかに関する詳細は、協会ウェブサイト www.lionsclubs.org でご覧いただくか、法務部にお問い合わせください。

トピックス

2025年人道支援大賞は ブラジルの非営利団体に

2025年ライオンズ人道支援大賞は、ブラジルで恵まれない人々に無償で医療を提供する非営利団体オブラス・ソシアリス・イルマン・ドウセ（OSID）が受賞した。OSIDは何十年にもわたって医療や社会的支援、教育サービスを提供し、がん患者、高齢者、障がい者、リスクにさらされている子どもたちを含め、毎年300万人以上に無料のケアを提供している。オランダ国際大会において、同団体のホセ・カルバルホ理事長に賞が授与され、人道支援活動を支援するためLCIFから50万ドルの交付金が贈られた。



2025・26年度国際理事会及び LCIF理事会の構成

2025・26年度国際理事会及びLCIF理事会の構成が発表された。

■国際理事会

仁科良三国際理事（1年目理事／長野みずす）…大会委員会

田名部智之国際理事（1年目理事／青森県・八戸）…会員増強委員会

■LCIF理事会

鶴嶋浩二LCIF理事（会員1人当たり寄付額第2位の国〈日本〉／元国際理事／北海道・札幌中島）＊3年任期2年目：プログラム委員会

2025・26年度 各複合地区ガバナー協議会議長

25・26年度各複合地区ガバナー協議会議長は次の通り。

330 複合…倉田雅史（24・25年度330・B地区ガバナー／神奈川県・小田原白梅）

331 複合…設楽幸子（23・24年度331・A地区ガバナー／北海道・札幌アカシヤ）

332 複合…車田信彦（24・25年度332・D地区ガバナー／福島県・玉川）

333 複合…水沼孝夫（21・22年度333・A地区ガバナー／栃木県・真岡）

2025-26 年度末クラブ数・会員数（2025年6月30日現在／国際協会集計）

2025年6月末の日本のクラブ数は2651、会員数は8万9704人だった。24年度内に結成された新クラブは28クラブ（23-24年度23）、解散は79クラブ（同65）で、51クラブ減（同54減）。入会者は8764人（同8475人）、退会者は1万1464人（同1万2272人）で、会員数は2700人減（同3797人減）となった。準地区別では、330-B（34人増）、330-C（4人増）、332-A（31人増）、333-A（106人増）、334-A（27人増）、336-B（1人増）、336-D（5人増）、337-C（1人増）の8地区で会員数が純増した（巻末「日本ライオンズ分布図」参照）。

世界のクラブ数は4万9279、会員数は133万3152人。新結成は2467クラブ（23-24年度2080）、解散は2454クラブ（同2072）で13クラブ増（同8増）。入会者は24万9943人（同24万1782人）、退会者は25万4418人（同23万5368人）で4443人減（同3586人減）となった。八つの会則地域別のうち会員が純増したのは、会則地域3（メキシコ・中南米・カリブ海諸島／2296人増）、会則地域5（東洋東南アジア／

1124人増）、会則地域7（大洋州及びその周辺／482人増）、会則地域8（アフリカ／222人増）。

会員数上位10カ国の順位は別表の通り。1位から10位に入った国は前年度と同じだが、台湾がネパールを抜いて6位、ブラジルがイタリアを抜いて8位に、いずれも一つ順位を上げた。上位5カ国がクラブ数、会員数を減らす中、中国（＊香港・マカオ除く／2,409人増・増加率7.28%）と台湾（2,409人増・増加率6.10%）が著しい伸びを見せた。

●会員数上位10カ国

国名	クラブ数	増減	会員数	増減
1 インド	8,513	-164	276,078	-464
2 アメリカ	9,595	-204	251,832	-5,700
3 日本	2,651	-51	89,704	-2,700
4 韓国	2,003	-9	67,157	-1,925
5 ドイツ	1,579	-5	51,281	-3
6 台湾	1,258	54	41,702	2,399
7 ネパール	2,078	158	41,030	-104
8 ブラジル	1,425	10	38,753	571
9 イタリア	1,413	15	39,534	276
10 中国	1,333	20	35,490	2,409

新結成／解散／合併／名称変更

■新結成クラブ

愛知県・田原藤通(川上博康会長／43人)▼3月26日認証▼スポンサー／豊橋中
青森ゴルフ(日野高一会長／23人)▼3月31日認証▼スポンサー／青森みらい
島根県・浜田橙蘭キャンパス(山川恵里会長／21人)▼4月4日認証▼スポンサー／浜田亀山
香川県・坂出中央みらい(蒲田辰雄会長／20人)▼4月22日認証▼スポンサー／坂出白峰
香川県・さぬき未来(橋口博徳会長／22人)▼5月2日認証▼スポンサー／志度
鹿児島県・奄美大島碧バーチャル(窪田光子会長／20人)▼5月12日認証▼スポンサー／奄美大島

神奈川県・大和アート(北嶋恭子会長／22人)▼5月15日認証▼スポンサー／大和中央シティ
青森県・八戸S100(河原木督悦会長／30人)▼6月2日認証▼スポンサー／八戸
東京みらい(大内絵理菜会長／20人)▼6月10日認証▼スポンサー／東京ピース
新潟シニア(星野純朗会長／22人)▼6月18日認証▼スポンサー／新潟
岩手県・田野畑思惟の森(横山明石会長／20人)▼6月18日認証▼スポンサー／田野畑、釜石

■復帰クラブ

秋田県・横手(24年6月解散、25年6月復帰)

■解散クラブ

6月(60クラブ)=東京ゴルフ／東京日野／東京国立／東京京橋八重洲／東京マリア／神奈川県・横浜長者／横浜保土ヶ谷／埼玉県・東松山／川越つばさ／大宮／北海道・札幌南(合併)／新十津川／旭川東／比布／むかわ／青森県・岩木／中泊／岩手県・安代／藤沢岩手／福島県・あいづ塩川湯川／秋田県・神岡嶽／千葉県・船橋さざんか／小見川／館山中央／東金／群馬県・藤岡市／榛名／太田東(合併)／茨城県・協和／利根(合併)／愛知県・豊橋シニア／豊田加茂／静岡県・富士宮芙蓉／清水町／福井県・敦賀シニア／兵庫県・神戸葺合／神戸東灘マリン／大阪浪速(合併)／大阪大和川(合併)／東大阪河内／南大阪みささぎ(合併)／和歌山県・海南／京都洛北／夜久野／滋賀県・彦根金亀／兵庫県・福崎／はりま一宮／姫路白鳥／香川県・高松屋島／徳島中央／徳島南／神山／岡山県・倉敷ほえみ／島根県・大社／福岡県・桂川／大牟田デジエー／北九州くきなみ(合併)／大

分県・由布／宮崎県・高原／熊本県・山都
■合併クラブ(合併前のクラブ)
北海道・札幌わかば(札幌わかば／札幌南)
群馬県・太田中央(太田中央／太田東)
茨城県・取手大利根(取手大利根／利根)
大阪帝塚山(大阪帝塚山／大阪大和川)
大阪港(大阪港／大阪浪速)
大阪府・藤井寺(藤井寺／南大阪みささぎ)
福岡県・北九州黒崎(北九州黒崎／北九州くきなみ)

■クラブ名称変更

東京カレー→東京みらいアーチ
福岡県・花鶴福岡→東福岡
長崎県・長与→長崎オーシャン

計報

■元国際役員



彩谷野徹(山口県・下関西)
4月23日逝去。05-06年度336-D地区ガバナーを務めた後、2006年6月30日～7月4日にアメリカ・マサチューセッツ州ボストンで開催された第89回国際大会で2006～08年国際理事に選出された。享年85歳。
彩佐藤清人(長野県・軽井沢)
3月1日逝去。97-98年度334-E地区ガバナー。
彩福田幸信(栃木県・今市)
3月24日逝去。16-17年度333-B地区ガバナー。
彩千葉満(青森県・八戸白鷗)
4月8日逝去。88-89年度332-A地区ガバナー。
彩濱田徹(神奈川県・横須賀中央)
4月19日逝去。17-18年度330-B地区ガバナー。
彩川嶋富士雄(三重県・四日市中央)
4月21日逝去。23-24年度334-B地区ガバナー。
彩奥村啓二(京都定)
5月4日逝去。10-11年度335-C地区ガバナー、12-13年度335複合地区議長。
彩小澤顕一(山形中央)
5月10日逝去。09-10年度332-E地区ガバナー。
◎ライオンとしての多大な功績をたたえ、ご冥福をお祈り申し上げます。

334複合…杉木徹(24・25年度334・D地区ガバナー／富山県・砺波)
335複合…山本忍(23・24年度335・C地区ガバナー／滋賀県・栗東)
336複合…山崎もとみ(23・24年度336・D地区ガバナー／島根県・大田)
337複合…武永健治郎(24・25年度337・B地区ガバナー／宮崎県・都城きりしま)

大阪 関西万博開催記念「天王寺しだれ桜」贈呈式

335複合地区(廣田晃一24・25年度議長)は大阪・関西万博の開催を記念して、3月24日、大阪市天王寺区の天王寺公園にシダレザクラ(樹齢70年・高さ8m)を植樹。その贈呈式が6月16日に開催され、記念碑の除幕、贈呈書の進呈、感謝状の受領

が行われた。

「万博開催とライオンズの貢献がレガシーとしていつまでも語り継がれ、愛される桜に育つように」「大阪・関西の名所となるように」との思いを込め、「天王寺しだれ桜」と命名して大阪市に寄贈した。

当初は万博会場での植樹を検討したが、専門家である桜守から「夢洲で



は育たない」との助言を受けて断念。しかし、大阪市内には名所となるような立派なシダレザクラがないことから、どうしても実現したいと大阪市と協議を重ね、この地に植樹することとなった。

土盛り工事、桜の運搬・レッカー車など植樹の経費は約1400万円で、今後5年間の保全管理の費用も335複合地区が全額負担する。

(取材…ライオン誌日本語版委員／北岸秀規)

3332024・25年度 D地区ガバナー逝去

4月30日、2024・25年度333・D地区ガバナー在任中の彩染谷文雄(群馬県・高崎ライオンズクラブ)が逝去した。享年79歳。

第62回OSEALフォーラム 第1回ステアリング委員会

第62回OSEALフォーラム札幌組織委員会

2025年10月に札幌市で開催される第62回東洋東南アジア・ライオンズ（OSEAL）フォーラムに向け、第1回ステアリング委員会が5月24日に札幌市の京王プラザホテル札幌で開催されました。

本委員会には、OSEAL地域の各国・地区からオセアル執行委員会（OEC）メンバー、国際理事、2



025126年度ガバナー協議会議長予定者など総勢50人以上が集まり、フォーラム本番に向けた準備状況の確認と活発な意見交換が行われました。

フォーラムの組織委員会は、開催地のメンバーが中心となって組織されており、実行委員長である鶴嶋浩二（LCIF理事（元国際理事））を先頭に、多くのメンバーがボランティアとして運営に携わっています。札幌での開催は実に41年ぶりであり、ライオンズの「ウィ・サーブ」の精神に基づいた運営体制の構築を進めています。

会議では、全体スケジュール、登録状況、各イベント（オープニングセレモニー、ゴルフーナメント、国際会長晩餐会等）の進行案が報告され、各国代表により細部の調整が行われました。特に、札幌ドームで行われる開会式の入場に関しては、混雑解消のための2方向からの入場

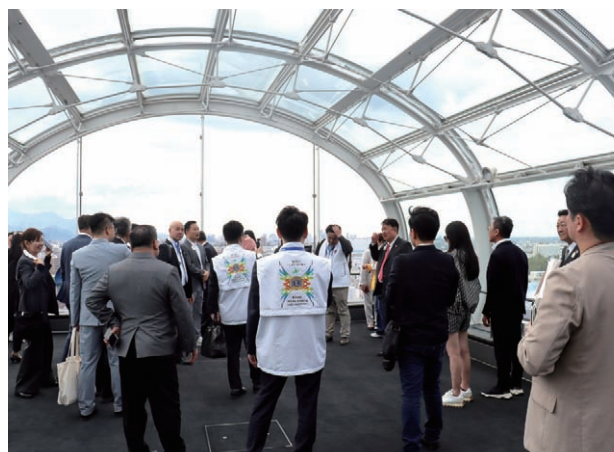
案や事前案内の工夫などが提案されました。

午後からの会場視察では、旧北海道庁赤レンガ庁舎（登録受付会場）、札幌ドーム（開会式会場）、札幌コンベンションセンター（セミナー・展示会場）をバスで巡回。動線確認や会場設営のポイントなどを現地で確認し、理解を深めました。

視察の最後となるアサヒビール園での夕食懇親会は、各国代表者との交流の場となりました。この日は、ジュンヨル・チョイ元国際会長の誕生日でもあり、お祝いのサプライズ演出に会場には温かい拍手と笑顔があふれ、国境を越えた絆が一層強まりました。

今回のステアリング委員会を通じて、開催地日本の準備態勢が着実に進んでいることが示され、各国代表の協力体勢も強化されました。

現在、フォーラムの登録者数は4000人を超えています。ステアリング委員会で示された最終的な目標は1万6000人となりました。日本全体の内訳は1万2000人を目標とし、330複合地区800人、331複合3000人、332複合800人、333複合1200人、334複合1300人、335複合1000人、336複合1050



人、337複合1050人。海外からの登録者数は5800人（韓国2000人、台湾2000人、中国1000人、香港・マカオ300人、マレーシア300人、フィリピン100人、タイ100人など）を見込んでいます。

フォーラムは登録者の参加によって支えられる催しであり、登録は成功への第一歩です。まだ登録されていない皆様は、どうぞお早めに登録をお願いいたします。

オセアルフォーラム組織委員会は、実りある大会とするため力を合わせて準備を進め、皆様をお待ちしております。

23-26 October 2025

The 62nd OSEAL FORUM SAPPORO 2025



札幌
SAPPORO



北海道
HOKKAIDO

Our Efforts (私たちの取り組み)

環境 Environment

ライオンズの森づくり

人と自然が共生する未来づくりへのプラン「OSEAL to the Futureプロジェクト」=地域をつなぐ自然共生活動。

循環 Circulation

ペットボトルとアルミ缶リサイクル

収集されたキャップはフォーラム開催後に売却収益でワクチンを購入。

共生 Living together

バラスポーツフットサルエキシビジョンの開催

ボール一つで多くの人と繋がり、喜びや感動をわかちあえる。誰もが分け隔てなく、共に助け合い笑顔で共生できる社会を目指し、特別支援学校の生徒の協力をいただき開催します。

The 62nd OSEAL FORUM SAPPORO 特別企画

OSEAL FORUM SAPPORO 2025 公式ホームページから
ふるさとチョイスで商品を購入すると、一部費用が
OSEAL FORUM SAPPORO 2025 運営事務局に還元されます。



PROGRAM

京王プラザホテル札幌	札幌コンベンションセンター	大和ハウスプレミストドーム (札幌ドーム)
10月23日 ■ 記者会見 ■ GAT会議 ■ PID/PDGセミナー ■ ライオンズクエスト会議 ■ 歓迎レセプション(VIP) ■ コーカスミーティング		
10月24日 ■ 第1回協議会議長&地区ガバナーミーティング ■ 国際会長&地区ガバナーミーティング ■ LCIFドナーレセプション		■ 開会式 ■ フード・バザー、展示会
10月25日 ■ 第2回協議会議長&地区ガバナーミーティング ■ 国際会長と地区ガバナー会議 ■ 決議委員会会議 ■ 国際会長晩餐会	■ フード・バザー、展示会 ■ LCIFセミナー ■ ZCセミナー ■ ニューボイスシンポジウム ■ Lion Portalセミナー ■ ミッション1.5セミナー ■ 災害支援セミナー ■ 第63回OSEALフォーラムの歓迎会	
10月26日 ■ 第3回協議会議長&地区ガバナーミーティング ■ 閉会式		

参加受付会場

北海道庁旧本庁舎 (赤れんが庁舎)

「赤れんが」の愛称で知られる
北海道の象徴的な建物

煉瓦づくりの建物は、約80年に渡って道政を担ってきた歴史ある建物で北海道の歴史を感じさせる施設の一つです。

開会式会場

大和ハウス プレミストドーム (札幌ドーム)

夢と感動のステージ、
大和ハウスプレミストドーム

2001年。都市の中にありながら北海道らしい自然が広がる札幌の丘陵に札幌ドームは誕生しました。北海道最大、そして日本最北の全天候型ドームとして、開業以來さまざまなイベントが開催されています。

各種イベント会場

札幌コンベンションセンター

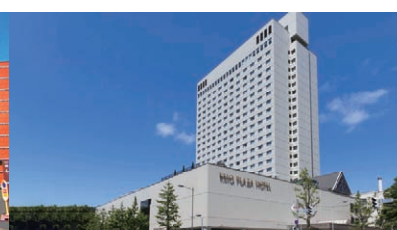
自然と国際都市機能をあわせもつ
「コンベンションシティ・札幌」の中核を担う
総合型施設

人口49万人以上を擁するグローバルMICE都市、札幌。
その象徴的なMICE施設と言えるのが
札幌コンベンションセンターです。

本部ホテル

京王プラザホテル札幌

豊かな自然と都市が織りなす札幌で、
誰もが思い思いに過ごせる広場で
ありたいと願っています。



「長期在籍者感謝の集い」盛大に開催



下川好隆（大阪府・堺）

去る4月3日、ホテル日航大阪において「335―B地区長期在籍者感謝の集い」が盛大に開催されました。本会は、40年以上の長期にわたり在籍され、ライオンズムの発展と人道奉仕に尽力されたメンバーの皆様へ感謝を表す場として設けられたもので、今回で4回目となります。

当日は、335―B地区（大阪府・和歌山県）内の在籍40年以上の会員196人中、73人の方々のご出席を賜りました。そのうち、最長在籍60年の^{オンライン}高瀬善方（大阪福島ライオンズ^{クラブ}）と^{オンライン}宮部嘉博（堺浜寺ライオンズ^{クラブ}）、そして最高齢97歳の^{オンライン}寺本賢（豊中北ライオンズ^{クラブ}）の3人には、20年ぶりに335―B地区から選出された城阪勝喜国際理事から国際会長感謝状が伝達され、場内に大きな

拍手が沸き起こりました。続く医師の北畑英樹元地区ガバナーによる「笑って元気に百寿まで！」の講演では健康長寿の秘訣^{ひけつ}が語られ、会場は和やかな雰囲気になりました。

ご出席いただいた方の中には、在籍50―59年は10人、90歳以上は15人おられ、中にはクラブ結成時から在籍するチャーターメンバーや、例会出席率100%を誇る方もおられました。数人の方々にインタビューとしてお話を伺い、入会時に先輩から受けた「ライオンとしての教え」を現在まで守り、^{かくしやく}矍鑠^{かくしやく}としておられる姿に尊敬の念を抱きました。地区の歴史と誇りを感じさせる、感動的で心温まるひと時となりました。

本会の開催に当たり、古川繁浩地区ガバナーを始めとするキャビネッ

ト役員や、実行委員長を務めた中村房雄元地区ガバナー、副実行委員長の田中敏朗、津田勝之両元地区ガバナー、そして共催の335―B地区名誉顧問会に深く感謝申し上げます。

先人の功績をたたえ、今後のライ

永久欠番のガバナー



久慈勝範（岩手県・水沢）

当クラブに40年間在籍され、2012―13年度には332―B地区ガバナーを務められた^{オンライン}千葉龍二郎が退会されました。結成65年の当クラブが輩出した2人目の地区ガバナーであり、クラブの精神的支柱として活躍されてきた方です。奥様の介助に専念したいという強い意志による苦渋の決断であると十分理解しつつも、私を含め周囲が受けた衝撃は非常に大きなものでした。千葉ガバナーは永久欠番の選手のごとく唯一無二の

オンズ活動の礎となる大切な集いとなりました。ご参加くださった皆様、誠にありがとうございました。

（335―B地区キャビネット幹事／09年入会／56歳）

存在で、現役として後進の指導を続けてくださるという「思い込み」がありました。ですからクラブ全体が、還暦を過ぎてもいまだ悟りを得ず、千葉元地区ガバナーの鷹揚^{おつよう}な人柄に甘え、まさに父母のすねをかじる子どものような「甘えの構造」に支配されていたと、この衝撃によってようやく気付かされることになりました。

2月26日、クラブメンバーの退会としては異例の「お疲れ様会」が、



実績 54年

ビル
マンションの
防水・補修・塗装
等
改修工事専門

ビルの延命を志向して54年。
味わい深い風貌を保ち続けて欲しい…
私たちエーコーの願いです。

エーコー総建株式会社

東京都知事許可（般1）第46720号

〒165-0023 東京都中野区江原町三丁目
34番地1号 エーコー第2ビル

TEL.03-3565-0971(代)

FAX.03-3565-0981

代表取締役社長 竹井 信彦

代表取締役会長 竹井 壽一
(東京新宿ライオンズクラブ会員)

<http://www.eikohsohken.co.jp>

メンバーの経営するホテルでにぎやかに開催されました。会員数46人の当クラブで、例会でさえ出席者20人程度のこともある中で、有志の会という設定ながら37人が参集しました。当日は千葉ご夫妻を囲んで、2012年度当時の地区キャビネット役員を始め、元地区ガバナーを募り面々が懐かしい話で大いに盛り上がりました。最後はライオンズローアの雄叫びを上げ、「また会う日まで」を参加者全員で輪になって大合唱してお開きとなりました。

お疲れ様会では、古参会員は「ガバナーが出たあの頃はキャビネットの役職を受け、クラブが丸となったがむしやらにがんばっていたなあ」と懐かしがり、若手会員は近年

のクラブの有り様とは一味違う歴史を知るようになりました。人は目標があると一生懸命にがんばれますが、それを達成した瞬間から徐々にガラガラとして緊張が緩んでしまうもの。それが「人の性」という訳です。「火宅のたとえ」のごとく、火事の危険が迫っているのにそのことに気付かず遊びに興じて走り回る子どもたちのように、私たちは知らず知らずのうちに緊張感を欠くことが多くなっていたかもしれません。「いざという時に頼れる親が、いつまでも居てくれるわけではない」ということを、かみしめる会でもありました。私たちは大きく温かい親の庇護から卒業し、自分で考え行動しなければなりません。私はゾーン・チェアパー

ソンの役職に就きゾーン内の姉妹クラブを訪問した際、結成当初は同じ根から枝葉を広げているにもかかわらず、クラブ運営とそこに流れる空気感の違いに新鮮な驚きを感じたことがあります。また、会員数が多い大所帯のクラブで、それぞれの会員の顔が見えにくく一人ひとりにかかる期待度と責任感が薄れてしまい、全員を同じ方向に導くことが容易ではなさそうに思えたこと、一方、小規模クラブでは会員一人ひとりの顔が見え、運営上の苦労はあるにしてもやりようによつてはクラブが一体となつて事業を行える素地が備わっているとも思えたこともあります。つまり、「伝統」とか「会員数」そのものにはさほどの意味はなく、そこ

ここに所属する会員の意識の在りどころが最も重要であると考えます。自分を律することすら出来ない意志薄弱な私が、観念的にあたかも悟りを得たように振る舞うこと自体、思いあがり^{そと}と誹りを受けることかもしれない。しかし今こそ、残された私たちの意識が「目覚め」、少しずつでも成長を続けていくことを期待するものです。

千葉龍二郎元地区ガバナー、40年間のライオンズ生活、本当にお疲れさまでした。これからも私たちが心の中で、あなたを「永久欠番のガバナー」として標榜^{ひょうぼう}することをお許しください。

(テールツイスター／99年入会／66歳)

新会員の広場

キニナル調査隊

●調査対象

「ライオンズ・ローア」

初めて見た時には、誰でも目が点になったに違いない「ウォー」の雄叫び。いつ、誰が始めたの？

●調査報告

「ライオンズ・ローア」は東アジアのライオンズに独特の習慣で、その起源はよく分かっていない。国内で確認出来る「ローア」に関する最も古い記録は、東京ライオンズクラブ結成の3年後、195



5年2月1日に開かれた岡山ライオンズクラブチャーター・ナイトのプログラムにある「獅子吼、ジョージの音頭により一声」の一文。「ジョージ」は、日本でのクラブ結成のために国際協会が派遣したジョージ・バレンゴア特別代表（フィリピン・マニラライオンズクラブ）のこと。更に、57年6月に開かれた新結成クラブのチャーター・ナイトでは、東京ライオンズクラブ結成の中心人物で日本初の地区ガバナー、国際理事



ライオンズ・ローアを披露する石川

を務めた石川欣一が「ウォー、ウォー、ウォー」と3回吼えて会を締めくくったとの記録がある。

／8月合併号）で「ライオンズ・ローアをやることによって、何人

Close up … 新会員の横顔



*写真はイメージです

予告 & 募集

新会員の横顔を紹介するコーナーを次号からスタートします。入会のきっかけや入会前後のライオンズクラブに対する印象、奉仕活動に対する思い、目標などを語っていただきます。このコーナーに登場して下さる新会員を大募集！入会から1年半未満で、下の①～③いずれかに当てはまる新会員の推薦をお待ちしています。

- ①奉仕活動や運営に特に積極的に参加し、クラブに活気をもたらしている会員
- ②専門的な知識や経験を生かし、クラブの奉仕活動で大きな役割を担っている会員
- ③クラブに新風を吹き込み、次世代リーダー候補として期待されている会員

★推薦する新会員の氏名、クラブ名、入会年月、①～③の該当項目と簡単な説明、推薦者名を明記し、edit@thelion.jp へお送りください。ご登場いただく新会員の選考はライオン誌日本語版委員会で行います。

『ライオンズクラブ入門』を ご活用ください



新会員向け入門書、『ライオンズクラブ入門』のPDFを配布中。ライオン誌ウェブマガジン「会員向け」メニューにある「情報資料」でダウンロードしてご活用ください。

にもあり得べきモヤモヤが、心の中に入り込む余地が全くなくなることを強調したい」と効能を説いている。

ライオンズ・ローアには一声と三声がある他、拳の突き出し方などの吼え方に地域による違いがあるようです。「我がクラブのローアはちよつと変わったスタイル」「他クラブのローアを見て驚いた」など情報がありましたら、edit@thelion.jp宛にぜひお寄せください！

ライオンズ雑学クイズ

【第1問】今年の国際大会が開かれたのは、アメリカ・フロリダ州オーランド。では、来年の国際大会の開催地はどこ？

- a. 香港
- b. アメリカ・ワシントンDC
- c. フィンランド・ヘルシンキ

【第2問】今年度（2025-26年度）国際会長の出身国はどこ？

- a. ケニア
- b. インド
- c. ブラジル

【第3問】国際会長の任期は1年。国際理事の任期は何年？

- a. 1年
- b. 2年
- c. 3年

【第4問】次の三つのライオンズ国のうち、

2025年6月末時点で最も会員数が多いのは？

- a. フランス
- b. イタリア
- c. スペイン

【第5問】例会などで歌うライオンズ・ソング。次のうち、日本で作詞・作曲されたのは？

- a. 「ライオンズ・ヒム」
- b. 「ライオンズクラブの歌」
- c. 「また会う日まで」

★あなたは何問分かりましたか？ クイズの解と解説は、ライオン誌ウェブマガジン「情報資料」にある「ライオンズ雑学クイズ回答」でご確認ください。

正解はこちら→



ライオン誌
ウェブマガジン
www.thelion-mag.jp



ウェブマガジンには全国のクラブが実施した奉仕活動のレポートや、ライオンズクラブに関する国内外のニュースに加え、統計データや国際協会の情報へのリンクも掲載。クラブの奉仕活動や運営のヒントになる記事など、役立つ情報満載でお届けしています。ぜひご活用ください！

読者プレゼント



応募は
こちら→



アメリカ・フロリダ州オーランドで開かれた第107回国際大会のお土産として、大会公式グッズのトートバッグとウォーターボトル各1点のセットを5人の読者にプレゼントします。ウォーターボトルの色の選択は当方にお任せください。

ご希望の方は、左のQRコードでライオン誌ウェブマガジンにあるフォームにアクセスし、2025年9月5日までにご応募ください。



EXECUTIVE OFFICERS

President A.P. Singh, India; Immediate Past President Fabricio Oliveira, Brazil; First Vice President Mark S. Lyon, USA; Second Vice President Dr. Manoj Shah, Kenya; Third Vice President Tony Benbow, Australia.

INTERNATIONAL DIRECTORS

Second Year International Directors
Raj Kumar Agarwal, India; Guy-Bernard Bami, France; Dr. Karl Brewi, Austria; Debbie Cantrell, USA; Chris Carlone, USA; Luis Augusto David Caro Chong, Peru; Dato' Yeow Wah Chin, Malaysia; Lorena Hus, Slovenia; Ea-Up Kim, Republic of Korea; S. Magesh, India; Robert "Ski" Marcinkowski, USA; Pankaj Mehta, India; Bert Nelson, USA; Ramesh C. Prajapati, India; Princess Bridget Adetope Tychus, Nigeria; Graeme Wilson, New Zealand; David Wineman, USA; Dong Zhao, China.

First Year International Directors

Subhash Babu, India; Nadine Bushell, Trinidad; Soon-Tak Choi, Republic of Korea; Liz Crooke, USA; Debbie Dawson, Canada; Celina Guimarães, Brazil; Nazmul Haque, Bangladesh; Kuo-Yung Hsu, China Taiwan; Dr. Mark Mansell, USA; Drazen Melcic, Croatia; Ryoza Nishina, Japan; Niels Schnecker, Romania; Gary Steele, USA; Tomoyuki Tanabu, Japan; Hroar Thorsen, Denmark; Melissa Washburn, USA; David W. Wentworth, USA.

Lions International Headquarters

300 W 22ND STREET OAK BROOK IL 60523-8842 USA
TEL.(630)571-5466 FAX.(630)571-8890
Website: lionsclubs.org

一般社団法人日本ライオンズ

PR マーケティング委員会 (2024-25 年度)

委員長 星野 勝美 (333 複合地区)

副委員長 佐藤 裕幸 (333 複合地区)

〒104-0031 東京都中央区京橋 1-2-4 八重洲ノリオビル 5 階

TEL. (03) 6262-1263 FAX. (03) 3241-4388

Website: lionsclubs.or.jp

ライオンズ・インターナショナルの公式出版物として以下の公式版が認可されている -Australia and Papua New Guinea, Austria, Bangladesh, Belgium, Britain-Ireland, Brazil (an edition for Multiple District LA, LB and LD and an edition for Multiple District LC), Canada (Multiple District A), China Hong Kong, MD 300 Taiwan, Denmark, Finland, France, Germany, Greece and Cyprus, Headquarters (English and Spanish), Iceland, India, Indonesia, Italy, Japan, Korea, Nepal, Netherlands, New Zealand, Norway, Pakistan, Poland, Portugal, Sweden, Switzerland, Thailand and Türkiye.

ライオン誌日本語版委員会 (2024-25 年度)

国際理事 濱野 雅司

国際理事 城阪 勝喜

委員長 星野 勝美 (333 複合地区)

副委員長 佐藤 裕幸 (333 複合地区)

編集長 瀧野二三世 (337 複合地区)

委員 田中 明 (330 複合地区)

委員 馬場 哲也 (331 複合地区)

委員 藤谷 文雄 (332 複合地区)

委員 三枝 久夫 (337 複合地区)

委員 前田 磨 (334 複合地区)

委員 北岸 秀規 (335 複合地区)

委員 佐々木孝之 (336 複合地区)

ライオン誌日本語版

TEL. (03) 6674-8777 FAX. (03) 6674-8781

E-mail. edit@thelion.jp

Website: thelion-mag.jp



役立つ誌面作りを常に真摯に、真剣に ライオン誌日本語版編集長 瀧野二三世(大分)

編集長として、この一年貴重な経験をさせていただいています。今回は委員会の様子を少しご紹介します。

委員会の雰囲気は心地が良く、緊張感もあり、他では味わえない貴重な場です。ライオン誌が出来上がるまでに必要な内容(取材対象の選考や台割の検討など)を丁寧に協議する約2時間の会議は、とても充実しています。

2024-25年度委員会の出席者は、濱野雅司国際理事、城阪勝喜国際理事、一般社団法人日本ライオンズの松浦淳一理事長、中谷豊重専務理事、PRマーケティング委員会の星野勝美委員長と佐藤裕幸副委員長、増澤義治事務長、八複合地区から選出された8人の委員(氏名は左下に記載)で、この顔ぶれで毎月1回の会議が開催されています。対面会議は年2回で、Zoom会議が中心となります。



混迷の世界情勢とライオンズへの影響 ライオン誌日本語版委員 佐々木孝之(岡山)

世界は現在、アメリカのドナルド・トランプ大統領の政策によって直接的にも間接的にも非常に大きな影響を受けています。

これらの影響は、社会奉仕団体であるライオンズクラブにどのような影響を及ぼすのでしょうか？

トランプ政権には日米同盟を重視する一方で、防衛費の負担増など日本に対して経済的なプレッシャーをかける姿勢が見られます。これにより、社会的課題や支援を必要とする分野への予算が削減される懸念があります。

また、日米間の関税交渉における緊張が、特に日本の中小企業や地域経済に大きな影響を与える可能性も否めません。地域経済が疲弊すると、ライオンズクラブの活動に必要な資金調達や地域の協力が難しくなるリスクにもつながります。

年4回発行の印刷版については、表紙や企画内容、記事の確認など「どうすれば多くの方に読み、活用していただけるか」を常に考えながら進め、誌面に反映させます。

ウェブマガジンについても多くの方にアクセスしてもらえよう、LINE公式アカウントの友だち登録を呼びかけますが、登録者数が頭打ちの現状です。どうすれば伸ばせるかなど、知恵を出し合い、出された意見を検討して実行に移していきます。

この何とも言えない達成感が味わえるのは、委員はもちろんのことスタッフの存在があればこそです。最強の助っ人のサポートなくしてライオン誌を作り上げることが出来ないのも事実です。委員との絆、事務局との絆は、我が人生においての財産となりました。

ライオン誌日本語版委員会の活動に、興味・関心を持っていただけたらうれしいです。

こうした貿易摩擦や経済不安が地域社会に及ぼす影響を考慮し、生活に困窮する人々の支援活動が更に求められます。

トランプ政権の移民政策や国際協力に対する姿勢は、日本における多文化共生や国際交流活動に間接的な影響を与える可能性があります。それにより、ライオンズクラブの国際的活動への参加や支援の意義は高まるでしょう。

そのため、日本国内での多文化共生や国際的視点の共有を目指した活動をより一層進める必要があります。

会員の高齢化や減少など多くの課題を抱える状況の中、会員の皆様にはぜひライオン誌日本語版をご活用いただき、これからのクラブ活動のヒントや励みの材料としていただきたいものです。

時代の変化に柔軟に対応しながら、ライオン誌は地域と世界をつなぐ架け橋としての役割を果たしていきたいと思っています。

地区	クラブ数	増減	会員数	入会	退会	増減	(%)
330-A	177	-4	4,275	488	883	-395	(-8.46%)
330-B	136	0	3,313	400	366	34	(1.04%)
330-C	65	-1	1,498	243	239	4	(0.27%)
330 計	378	-5	9,086	1,131	1,488	-357	(-3.78%)
331-A	68	-2	2,281	263	323	-60	(-2.56%)
331-B	66	-3	1,816	114	195	-81	(-4.27%)
331-C	42	-1	1,388	105	193	-88	(-5.96%)
331 計	176	-6	5,485	482	711	-229	(-4.01%)
332-A	63	1	1,977	226	195	31	(1.59%)
332-B	49	-1	1,705	108	229	-121	(-6.63%)
332-C	55	0	1,455	110	140	-30	(-2.02%)
332-D	64	-2	2,009	200	232	-32	(-1.57%)
332-E	48	0	1,525	97	144	-47	(-2.99%)
332-F	42	-2	1,062	63	154	-91	(-7.89%)
332 計	321	-4	9,733	804	1,094	-290	(-2.89%)
333-A	70	1	2,714	347	241	106	(4.06%)
333-B	47	1	1,121	130	364	-234	(-17.27%)
333-C	96	-7	2,479	223	406	-183	(-6.87%)
333-D	42	-4	1,555	125	292	-167	(-9.70%)
333-E	77	-2	3,384	273	552	-279	(-7.62%)
333 計	332	-11	11,253	1,098	1,855	-757	(-6.30%)
334-A	102	-3	4,986	608	581	27	(0.54%)
334-B	71	1	3,222	239	331	-92	(-2.78%)
334-C	67	-2	2,666	199	284	-85	(-3.09%)
334-D	89	-1	4,180	286	330	-44	(-1.04%)
334-E	46	0	2,065	162	173	-11	(-0.53%)
334 計	375	-5	17,119	1,494	1,699	-205	(-1.18%)
335-A	60	-1	1,535	174	202	-28	(-1.79%)
335-B	137	-5	5,729	628	775	-147	(-2.50%)
335-C	96	-3	3,333	332	421	-89	(-2.60%)
335-D	50	-3	1,381	109	195	-86	(-5.86%)
335 計	343	-12	11,978	1,243	1,593	-350	(-2.84%)
336-A	132	-2	4,793	495	652	-157	(-3.17%)
336-B	78	-3	2,377	274	273	1	(0.04%)
336-C	75	-1	2,655	193	265	-72	(-2.64%)
336-D	85	3	2,549	338	333	5	(0.20%)
336 計	370	-3	12,374	1,300	1,523	-223	(-1.77%)
337-A	110	-1	4,169	405	501	-96	(-2.25%)
337-B	57	-1	2,044	150	212	-62	(-2.94%)
337-C	70	-1	2,836	292	291	1	(0.04%)
337-D	68	-1	2,001	222	275	-53	(-2.58%)
337-E	51	-1	1,626	143	222	-79	(-4.63%)
337 計	356	-5	12,676	1,212	1,501	-289	(-2.23%)
総計	2,651	-51	89,704	8,764	11,464	-2,700	(-2.92%)

日本ライオンズ クラブ分布図

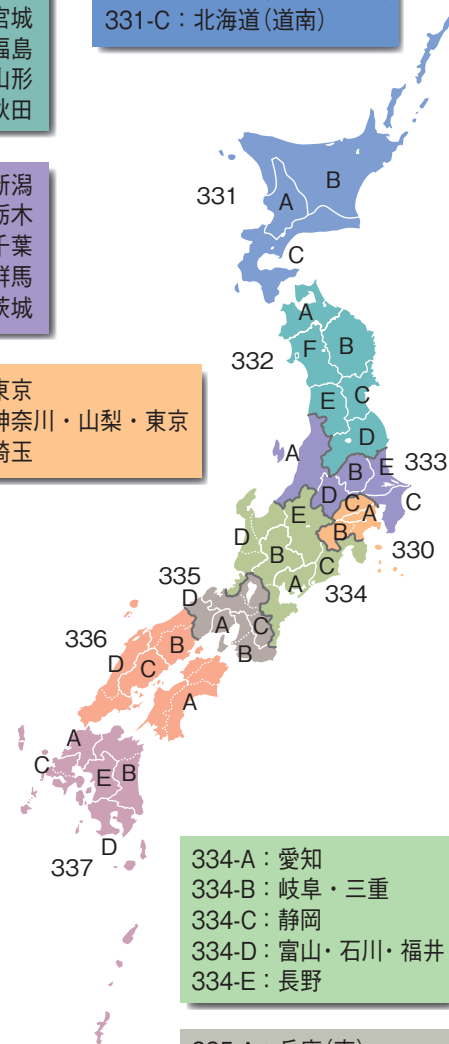
2025.6.30 国際本部集計

332-A : 青森
332-B : 岩手
332-C : 宮城
332-D : 福島
332-E : 山形
332-F : 秋田

331-A : 北海道(道央)
331-B : 北海道(道北・道東)
331-C : 北海道(道南)

333-A : 新潟
333-B : 栃木
333-C : 千葉
333-D : 群馬
333-E : 茨城

330-A : 東京
330-B : 神奈川・山梨・東京
330-C : 埼玉



334-A : 愛知
334-B : 岐阜・三重
334-C : 静岡
334-D : 富山・石川・福井
334-E : 長野

335-A : 兵庫(東)
335-B : 大阪・和歌山
335-C : 京都・滋賀・奈良
335-D : 兵庫(西)

337-A : 福岡・長崎
337-B : 大分・宮崎
337-C : 佐賀・長崎
337-D : 鹿児島・沖縄
337-E : 熊本

336-A : 愛媛・香川・高知・徳島
336-B : 岡山・鳥取
336-C : 広島
336-D : 島根・山口

世界のライオンズ 2025.6.30 国際本部集計

●国または領域 : 200 以上 ●クラブ数 : 49,279
●会員数 : 1,333,152 ●会員数増減 : -4,443

※男女別及び家族会員を含む月末集計はライオン誌ウェブマガジン「情報資料」でダウンロード出来ます

